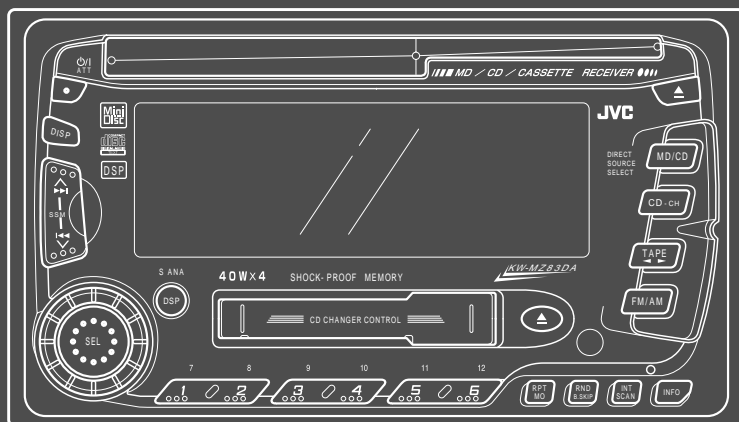


取扱説明書

JVC

KW-MZ83DA

MD/CD/カセットレシーバー



- お買い上げありがとうございます -

ご使用前にこの「取扱説明書」と「取付説明書」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
そのあと保証書と一緒に大切に保管し、必要なお読みください。

目次

● 主な特長.....	2
● 安全上のご注意.....	3～7
● 各部の名前と働き.....	8～13
● リモコン(RM-RK25:別売り)の使いかた.....	14～15
● 音量・音質の調節.....	16～17
● 時計の合わせかた.....	18～19
● DSPの使いかた.....	20～21
● スペアナとして使うには.....	22～23
● MDを聞く.....	24～27
● CDを聞く.....	28～30
● テープを聞く.....	31～34
● ラジオを聞く.....	35～38
● CDテキストについて.....	38
● CDチェンジャーのCDを聞く.....	39～41
● 他の機器の音を聞く.....	42～43
● 表示窓の明るさ/コントラストを変える.....	44～45
● CDの名前や放送局名などを表示させる.....	46～53
● 文字配列表.....	53
● 正しくお使いいただくために.....	54
● 保証書とアフターサービス.....	55
● こんなときは.....	56～57
● 主な仕様.....	58～59
● お手入れ.....	裏表紙

主な特長

- 2 DINサイズのMD/CD/カセットレシーバー
 - ・ダイレクト選曲
 - ・ランダム演奏/リピート演奏/イントロスキャン
 - ・8センチCD対応(アダプターなしでダイレクトイン)
 - ・CDテキスト対応
- ダイレクトソース(音源)切換
 - ・ラジオやMD/CD、CDチェンジャーなどの演奏がワンタッチでスタート(電源を入れることも可能)
- 40W×4ハイパワーアンプ内蔵
- フルロジックオートリバースメカニズム
 - ・前後9曲のミュージックスキャン
- SSM搭載チューナー
 - ・SSMによる放送局のメモリーが可能
 - ・24局プリセット(FM⇒6×2局、AM⇒6×2局)
 - ・アンテナリモート機能インフォメーション
 - ・交通情報が聞けるINFOボタン
- チェンジャーコントロール機能
 - ・12枚CDチェンジャー
- リアルなライブ音場を再現する7モードDSP(デジタル・シグナル・プロセッサ)搭載
- 放送局名やディスク名・曲名を表示(カナ・英数字)
- マルチ電子コントロール(音量・音質)
- ライン出力端子×2(RCAピン)
- ワイヤレスリモコン(RM-RK25:別売り)対応

安全上のご注意

はじめにお読みください

絵表示について

この取扱説明書と製品には、いろいろな絵表示が記載されています。これらは、製品を安全に正しくお使いいただき、人への危害や財産への損害を未然に防止するための表示です。絵表示の意味をよく理解してから本文をお読みください。



- この表示の注意文を無視して、誤った取扱いをすると、死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



- この表示の注意文を無視して、誤った取扱いをすると、障害を負ったり物的損害が想定される内容を示しています。

絵表示の説明

注意をうながす記号



一般的注意



感電

行為を禁止する記号



禁止



分解禁止



接触禁止

行為を指示する記号



一般的指示

安全上のご注意(つづき) はじめにお読みください

警告

本機はDC12V^{マイナス}⊖マイナスアース車専用です。



- ・大型トラックや寒冷地仕様のディーゼル車などの24V車で使用しないでください。火災などの原因となります。

配線作業中は、バッテリーの⊖端子を外してください。



- ・ショート事故による感電やけが、火災の原因となります。

本機を、前方の視界を妨げる場所やステアリング、シフトレバー、ブレーキペダル等の運転操作を妨げる場所など運転に支障をきたす場所、同乗者に危険を及ぼす場所には取付けしないでください。



- ・交通事故やけがの原因となります。

車体に穴を開けて取付ける場合は、パイプ類、タンク、電気配線などの位置を確認の上、これらと干渉や接触することがないように注意して行ってください。



- ・交通事故や火災の原因となります。

車体のボルトやナットを使用して本機を取付ける場合は、ステアリング、ブレーキ系統、またはタンクなどの保安部品のビスは絶対に使用しないでください。



- ・これらを使用しますと制動不能や発火の原因となります。

車体のボルトやナットを使用してアース線を接続するときは、ステアリングやブレーキ系統等の保安部品のビスは絶対に使用しないでください。



- ・事故の原因となります。

警告

コード類は、取付説明書または取扱説明書の指示に従い、運転操作の妨げとならないよう、まとめておくなどしてください。



- ・ステアリングやシフトレバー、ブレーキペダルなどに巻き付くと事故の原因となります。

電源リード線の被覆を切って、他の機器の電源を取るとは絶対にお止めください。



- ・リード線の電流容量をオーバーし、火災・感電の原因となります。

本機を分解したり、改造しないでください。



- ・事故・火災・感電の原因となります。

分解禁止

自動車を運転中に音量調節等の操作をしないでください。



- ・このような操作は、必ず安全な場所に車を停車させてから行ってください。

音が出ないなどの故障状態で使用しないでください。



- ・事故・火災・感電の原因となります。

ヒューズを交換するときは、必ず規定容量(アンペア数)のヒューズをご使用ください。



- ・規定容量以上のヒューズを使用すると、火災の原因となります。

万一、異物が入った・水がかかった・煙が出る・変な匂いがするなど異常が起きましたら、直ちに使用を中止し、必ずお買い上げの販売店にご相談ください。



- ・そのままご使用になると事故・火災・感電の原因となります。

事故防止のため、電池は幼児の手の届かないところに保管してください。



- ・万一、お子様が飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。

安全上のご注意(つづき) はじめにお読みください

⚠ 注意

本機の取付・配線には、専門技術と経験が必要です。

- ・安全のため必ずお買い上げの販売店に依頼してください。



必ず付属の部品を指定通り使用してください。

- ・指定以外の部品を使用すると、機器内部の部品をいためたり、しっかりと固定できずに外れたりして事故やけがの原因となることがあります。



雨が吹き込むところなど、水のかかるところや湿気やほこりの多いところへの取付は避けてください。

- ・本機に水や湿気、ほこりが混入しますと発煙や発火の原因となることがあります。



振動の多いところなど、しっかりと固定できないところへの取付は避けてください。

- ・外れて事故やけがの原因となることがあります。



本機の通風孔や放熱板をふさがないでください。

- ・通風孔や放熱板をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。



本機を不安定なところに取付けないでください。

- ・正しい設置を行わないと、事故や故障の原因となることがあります。



正規の接続を行わないと、火災や事故の原因となることがあります。

- ・接続が終わったら車のブレーキランプ、ホーンなどが正常に動作することを確認してください。



車体やねじ部分、シートレール等の可動部に配線をはさみ込まないよう注意してください。

- ・断線やショートにより、事故・感電・火災の原因となることがあります。



⚠ 注意

運転中の音量は、車外の音が聞こえる程度でご使用ください。



- ・車外の音が聞こえない状態で運転すると、事故の原因となることがあります。

カセットテープ挿入口やディスク挿入口に異物を入れないでください。



- ・火災や感電の原因となることがあります。

カセットテープ挿入口やディスク挿入口に手や指を入れないでください。



- ・けがの原因となることがあります。

指をはさまれないよう注意

本機を車載用として以外は使用しないでください。



- ・感電やけがの原因となることがあります。

指定の電池以外は使用しないでください。



- ・電池の破裂、液もれにより、けがや周囲を汚す原因となることがあります。

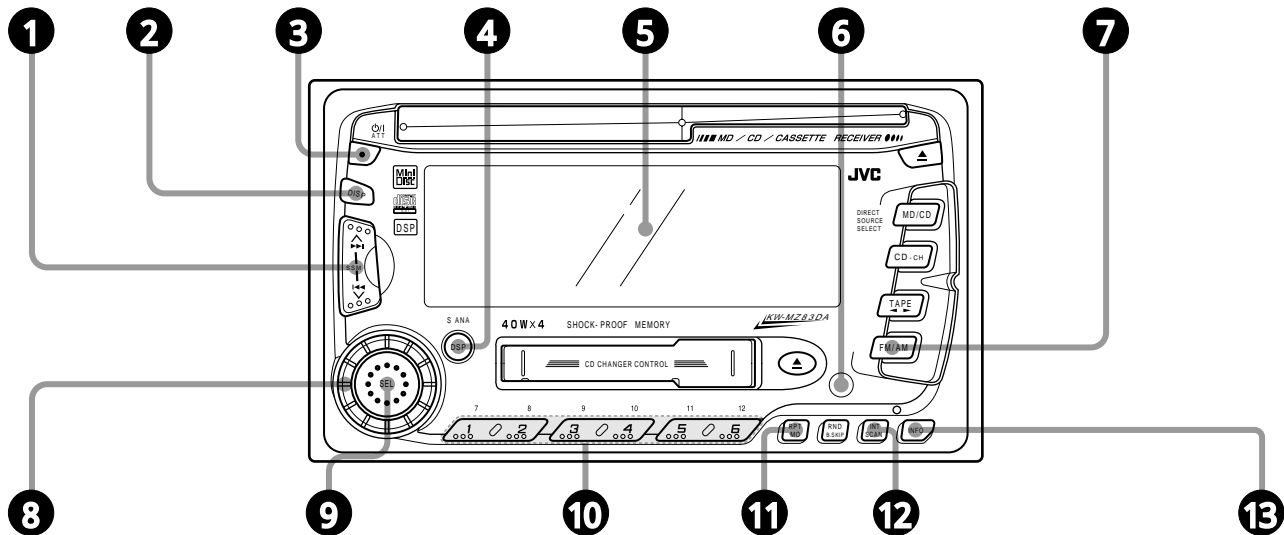
電池をリモコン内に挿入する場合は、極性表示(プラス⊕とマイナス⊖)に注意し、内部の表示通りに入れてください。



- ・間違えますと電池の破裂、液もれにより、けがや周囲を汚す原因となることがあります。

各部の名前と働き(1)

共通部分およびラジオを聞くときの働きです。



1 選局ボタン(📻、📡) / SSMボタン

ストロング
ステーションメモリー

放送局を選局するとき使います。→29ページ参照
📻と📡ボタンの中央を2秒以上押すと、電波状態の良い放送局を、自動的にプリセットボタンにメモリーすることができます(SSM)。→27ページ参照

2 DISPボタン

ディスプレイ

表示窓の表示を変えるとき使います。→29 30 31ページ参照
ただし、「TAPE」や「LINE IN」のときは変わりません。

3 電源 / ATTボタン

アッテネーター

電源の「オン」「オフ」に使います。→16ページ参照
「ポン」と押すと音量を一時的に下げることができます。

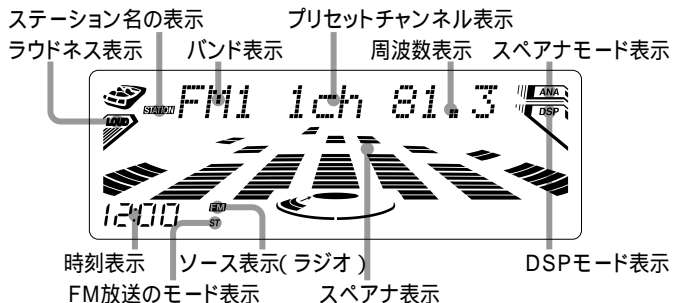
4 DSP/S ANA*ボタン

スペ アナ

DSPまたはスペアナのモードにすると使います。

* スペアナ(スペクトラムアナライザーの略)
ソースの音の周波数成分の分布を表示してくれます。

5 表示窓(ラジオのとき)



・バンド表示や周波数表示などの部分を文字表示部といいます。

6 リモコン受光部

別売りのリモコン(RM-RK25)の信号をここで受信します。
→14ページ参照

7 FM/AMボタン

ソース(音源)を「ラジオ」にしたり、FMとAMの聞きたいバンドを選ぶとき使います。→35ページ参照
電源を入れることもできます。
押すごとにFM1→FM2→AM1→AM2→FM1...と順に変わります。

8 ジョグダイヤル

電子ボリュームのレベルが調節できます。→16ページ参照

9 SELボタン

セレクト

音量・音質調節のモードが選べます。押すごとに



と変わります。→16ページ参照

2秒以上押すと時計合わせなどができます。→18ページ参照

10 プリセットボタン(0.1 0.2 ~ 0.5 0.5)

放送局をメモリー(記憶)したり、メモリーした放送局を聞くとき使います。FM、AMとも各バンドごとに6局ずつメモリーできます。→36ページ参照

11 MOボタン

モノラル

FMステレオ放送が雑音で聞きにくいとき使います。
→36ページ参照

12 SCANボタン

スキャン

放送局を探すとき使います。スキャン選局になります。
→37ページ参照

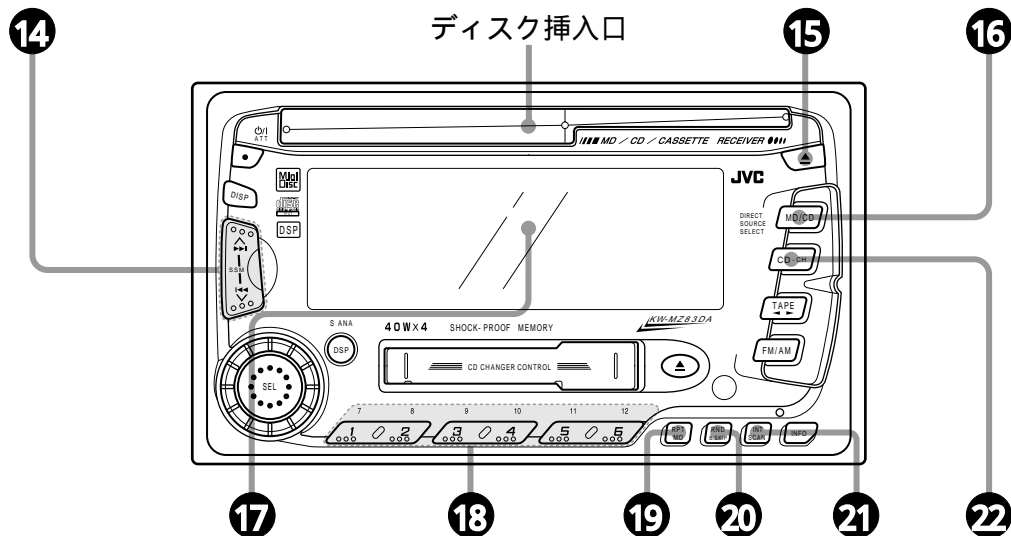
13 INFOボタン

インフォメーション

道路交通情報(AM1,620kHz)を聞くとき使います。
→38ページ参照

各部の名前と働き(2)

MD/CDを聞くと、CDチェンジャーのCDを聞くときの働きです。



お知らせ

- 本機にCDチェンジャーが接続されていないときは、ソース(音源)が「CDチェンジャー」にはなりません。
また、本機にMDまたはCDが入っていないときは、ソース(音源)が「MD」または「CD」にはなりません。「NO DISC」が表示されます。
- MDまたはCDは、いずれか一つを入れることができます。
同時に入れることはできません。

14 ◀ ▶ (スキップ/サーチ) ボタン
曲の頭出しや早送り、早戻しに使用します。
→ 27 30 40 ページ参照

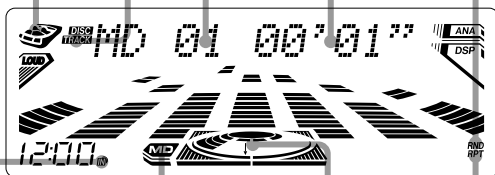
15 ▲ (ディスク取出し) ボタン
MDまたはCDを取り出すとき使用します。→ 24 28 ページ参照

16 MD/CD ボタン
ソース(音源)を「MD」または「CD」にするとき使用します。電源を入れることもできます。

17 表示窓

● MDのとき

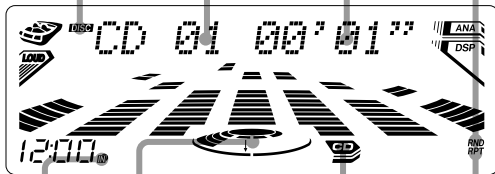
フォーカス表示 曲名の表示 曲番号表示 演奏時間表示 ランダム演奏表示



ディスクイン表示 ソース表示(MD) 演奏中の表示 リpeat演奏表示

● CDのとき

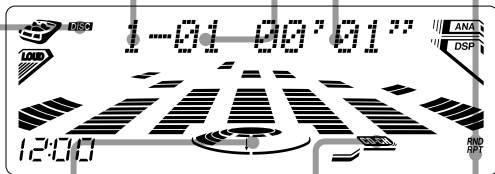
ディスク名の表示 曲番号表示 演奏時間表示 ランダム演奏表示



ディスクイン表示 演奏中の表示 ソース表示(CD) リpeat演奏表示

● CDチェンジャーのとき

ディスク名の表示 ディスク番号表示 演奏時間表示 ランダム演奏表示



演奏中の表示 ソース表示(CDチェンジャー) リpeat演奏表示

18  ~  ボタン● 「MD」または「CD」のとき
曲番号ボタン

聞きたい曲を選ぶとき使います。→26 29 ページ参照

● 「CDチェンジャー」のとき
CDダイレクト選択ボタン

CDチェンジャー内の聞きたいCDを直接選ぶとき使います。→40 ページ参照

19  ボタン

リピート

曲をくり返して聞くことができます。(リピート演奏)

→26 29 41 ページ参照

20  ボタン

ランダム

MDまたはCDに収録されている順番に関係なくランダム(無作為)に聞くことができます。(ランダム演奏)

→26 29 41 ページ参照

21  ボタン

イントロ

聞きたい曲を素早く探したいとき使います。→26 29 41 ページ参照

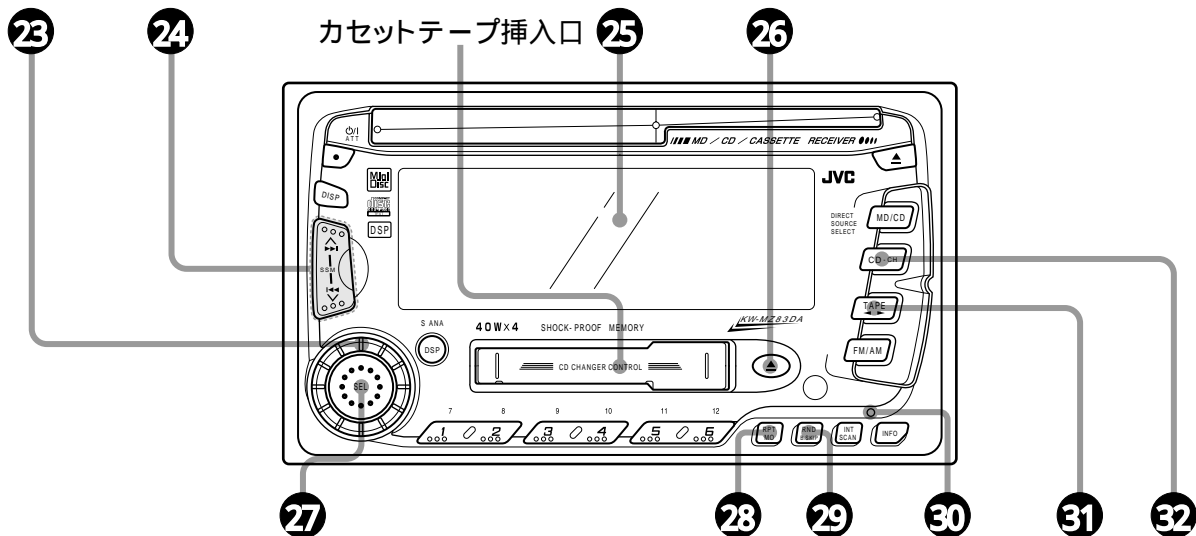
22  ボタン

チェンジャー

ソース(音源)を「CDチェンジャー」にするとき使います。電源を入れることもできます。→39 ページ参照

各部の名前と働き(3)

テープ再生の音および他の機器の音を聞くと、その他の働きです。



23 ジョグダイヤル

SELボタンを2秒以上押しで選んだPSMのモードの調節または選択ができます。➡18 43 ページ参照

24 ♪、△ボタン

1秒以上押しすと早送りや巻戻し、「ポン・ポン」と押しすと、ミュージックスキャン(曲の頭出し)ができます。➡20 23 ページ参照

25 表示窓(TAPEのとき)

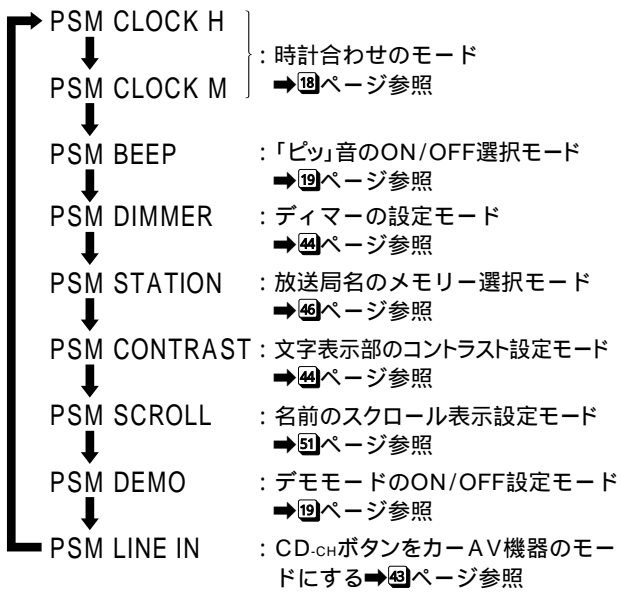
テープ走行方向表示(フォワード方向) リピート表示



再生中の表示 ソース表示(テープ) ブランクスキップ表示

26 ▲(テープ取出し)ボタン
 テープを取り出すとき使います。➡**34**ページ参照

27 SELボタン
 2秒以上押すと、お買い上げ時は「PSM CLOCK H」のモードになり時計合わせ(「時」の調節)ができます。このとき△(または▽)ボタンを押すと、下記のモードが選べます。例は△ボタンを押したときです。▽ボタンでは逆に変わります。次からは選んだモードが優先的に表示されます。



28 ^{リピート}RPTボタン
 再生中の曲をくり返し聞くことができます。➡**30**ページ参照

29 ^{ブランクスキップ}B.SKIPボタン
 テープのあき(ブランク)を飛ばして聞くことができます。
 ➡**30**ページ参照

30 リセットボタン
 始めて電源を入れたときまたは、どのボタンを押してもうまく動作しなくなったとき、このボタンを押して内蔵のマイコンをリセットします。➡**50**ページ参照

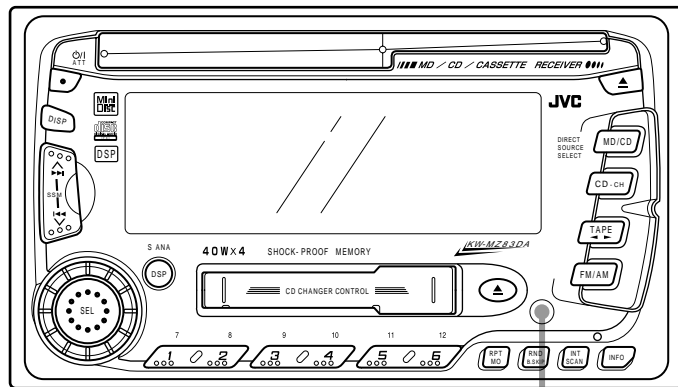
31 ^{テープ}TAPE ◀▶ボタン
 ソース(音源)を「TAPE」にすると使います。再生中に押すと、テープの聞きたい面を選ぶことができます。電源を入れることもできます。➡**31**ページ参照

32 CD-CHボタン
 「LINE INPUT」のモードに切換えたと、接続した他の機器のソース(音源)にすると使います。➡**42**ページ参照
 電源を入れることもできます。

リモコン(RM-RK25:別売り)の使いかた

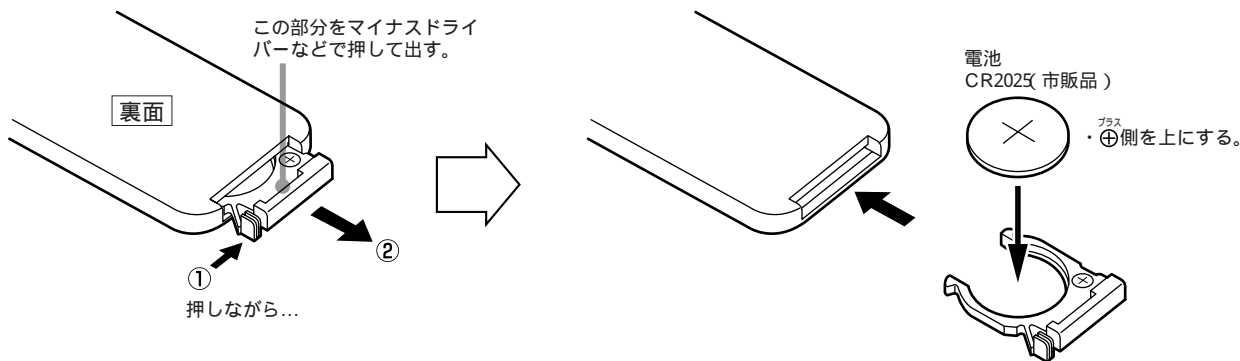
リモコンの使いかた

- リモコン受光部に正しく向けてボタンを押します。
- 操作範囲は受光部正面より約 $\pm 30^\circ$ の範囲ですが、斜めから操作すると受信しにくくなります。
- 受光部に直射日光などの強い光が当たらないようにしてください。また受光部の前に障害物を置かないでください。(動作しないことがあります)



リモコン受光部

電池の入れかた



- 電池の交換時期(目安)は...

リモコン操作のできる距離が短くなったり、動作が不安定になってきたときは、電池が消耗しています。新しい電池と交換してください。

各部の名前と働き

電源 / ATTボタン

1秒以上押すと電源の「オン」「オフ」ができます。「ボン」と押すと音量を一時的に下げることができます。

DISC + / BAND / PROGボタン

ディスク バンド プログラム

- ・「ラジオ」のとき：バンドが選べます。
- ・「CDチェンジャー」のとき：CDが選べます。
- ・「TAPE」のとき：テープの走行方向が選べます。

DISC - / PRESETボタン

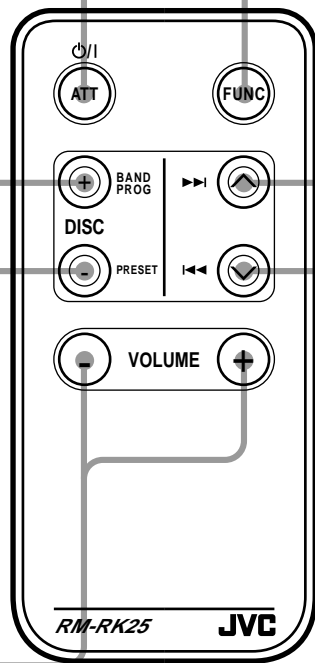
プリセット

- ・「ラジオ」のとき：プリセットしてある放送局（1ch～6ch）の選局ができます。
- ・「CDチェンジャー」のとき：CDが選べます。

VOLUME +、- (音量) ボタン

ボリューム

- 音量の調節ができます。
- ・ + : 音量が上がります。
 - ・ - : 音量下がります。



FUNCボタン

ソース(音源)を選ぶとき使います。

押すごとに

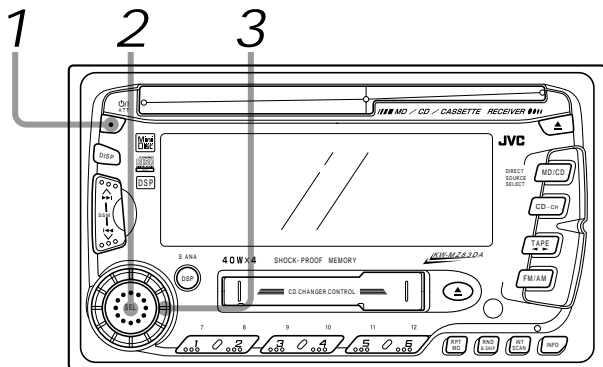
ラジオ → TAPE → MD/CD → CDチェンジャー (LINE IN)

と変わります。ただし本体にMDやCD、テープが入っていないかたりCDチェンジャーが接続されていないときはラジオのみになります。

選局 / 自動選局 ボタン

- ・「ラジオ」のとき：選局 / 自動選局 ができます。
- ・「MD/CD」と「CDチェンジャー」のとき：曲の頭出しや早送り、早戻しができます。
- ・「TAPE」のとき：ミュージックスキャンや曲の早送り、巻戻しができます。

音量・音質の調節



一口メモ

- 調節したレベルはメモリー(記憶)されます。電源を切っても次に電源を入れたときは、電源を切る前のレベルが表示されます。
- フェーダー調節は4スピーカー接続のときのみ調節してください。

1 電源を押して電源を入れる
(HELLO! が表示されます)



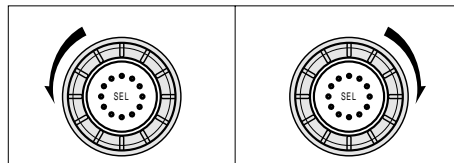
- ・電源を切るときは、1秒以上押します。
(SEE YOU表示のあと電源オフになります)
- ・「ボン」と押したときは、ATTアタッチャーになり音量が一時的に下げられ、ATT表示が点滅します。もう一度押すと元の音量に戻ります

2 SELを押して調節したいモードを選ぶ



- ・「ボン・ボン」と押すごとに表示窓に
BAS → TRE → FAD → BAL
← VOL ← LOUD ←
- と変わります。ただしVOL(音量調節)の場合、この操作は、必要ありません。直接ジョグダイヤルで調節できます。

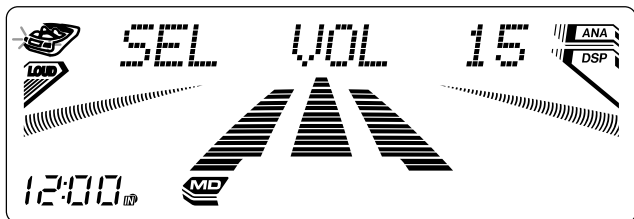
3 ジョグダイヤルを回して調節する



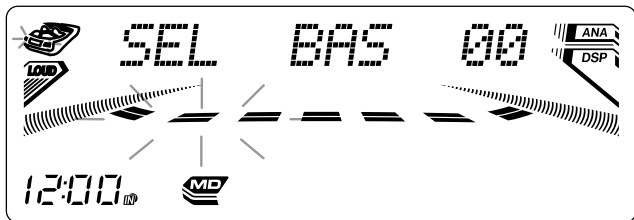
VOL (音量)	音量が下がる	音量が上がる
BAS (低音)	低音が減衰する	低音が強調される
TRE (高音)	高音が減衰する	高音が強調される
FAD (フェーダー)	フロント出力が下がる	リア出力が下がる
BAL (バランス)	右チャンネルの音量が下がる	左チャンネルの音量が下がる
LOUD (ラウドネス)	ラウドネス“ オフ ”	ラウドネス“ オン ”

- 各調節内容は液晶表示されます

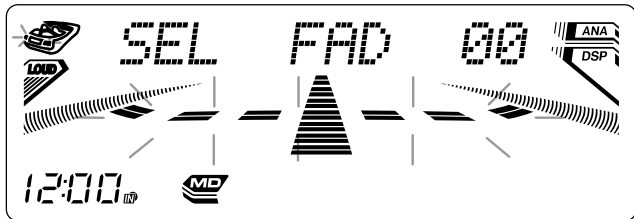
VOLの場合の例



BASの場合の例




FADの場合の例



- 初期設定状態と調節範囲

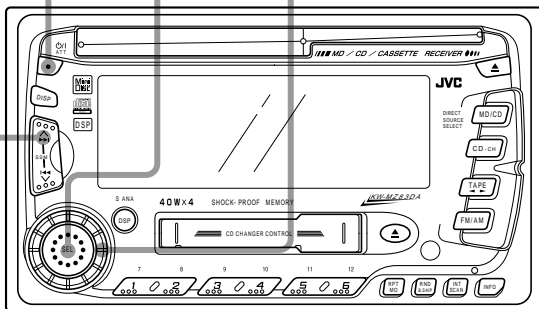
	初期設定	調節範囲
VOL	15	00 ~ 50
BAS	00 (フラット)	- 6 ~ + 6
TRE	00 (フラット)	- 6 ~ + 6
FAD	00 (センター)	リア フロント R6 ~ F6
BAL	00 (センター)	レフト ライト L6 ~ R6
LOUD	ラウドネス“ オン ”	オン/オフ

- ラウドネス“ オン ”設定にすると、**LOUD**が表示になります。小音量時の低音、高音が増強されて聞こえます。
- 調節が終わってから 5 秒後に、表示窓は前の表示に戻ります。

時計の合わせかた

本機に内蔵の時計を現在時刻に合わせておきます。

3-2 1 2 3-1・3-3

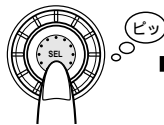


1 電源(ATT)を押して電源を入れる



・電源を切る前のソース(音源)が表示されます。

2 SELを2秒以上押して「PSM CLOCK H」を表示させる



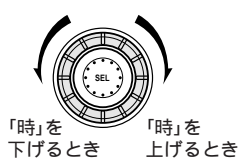
→ PSM CLOCK H

・「PSM CLOCK H」以外の表示が出たときは、 (または) ボタンを「ボン・ボン」と押して選びます。

3 現在時刻に合わせる(時刻表示点滅中に操作します)

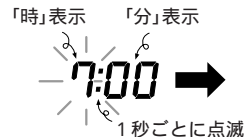
例：7時30分に合わせるとき(12時間表示方式です)

「時」を合わせる



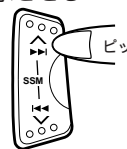
「時」を下げる時
「時」を上げる時

(3-1)



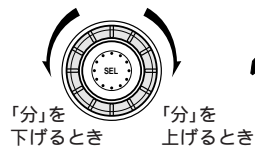
・調節中は文字表示部にCLOCK HOURが表示されます。

「PSM CLOCK M」を表示させる



(3-2)

「分」を合わせる



「分」を下げる時
「分」を上げる時

(3-3)

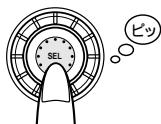
・調節中は文字表示部にCLOCK MINUTEが表示されます。

- ・時刻合わせが終わったあと、15秒で自動的に元のソース(音源)表示に戻ります。すぐに戻りたいときはSELボタンを「ボン」と押します。
- ・時刻を合わせ直すときも2~3の操作をします。
- ・「時」が変わるとき(例：10時00分のとき)は、文字表示部に時刻が移りCLOCK 10:00を5秒間表示し、元に戻ります。
- ・バッテリーの交換等でメモリー回路への電源供給が途切れると、設定した時刻は取り消されます。もう一度時刻合わせをしてください。

ボタンを押したときの「ピッ」音を、鳴らなくするには



ボタンを押したときの「ピッ」音を、鳴らなくすることができます。

1 SELを2秒以上押します



2秒以上押す。

・お買い上げのときは「PSM CLOCK H」が表示されます。

2  または  を「ポン・ポン」と押して「PSM BEEP」を選ぶ

3 ジョグダイヤルを回して「BEEP OFF」にする



「OFF」に
するとき

・「BEEP OFF」にすると、ボタンを押したときの「ピッ」音が鳴らなくなります。
(鳴らすように戻すときは、ジョグダイヤルを右方向に回して「BEEP ON」にします)

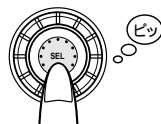
4 SELを押す

・元のソース(音源)表示に戻ります。

表示窓のデモモードの解除/設定



電源を「オン」にしたときのデモ表示を出なくすることができます。

1 SELを2秒以上押します

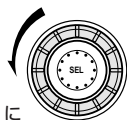


2秒以上押す。

・お買い上げのときは「PSM CLOCK H」が表示されます。

2  または  を「ポン・ポン」と押して「PSM DEMO」を選ぶ

3 ジョグダイヤルを回して「DEMO OFF」にする



「OFF」に
するとき

・「DEMO OFF」にすると、デモモード表示を出なくすることができます。
通常は、「DEMO OFF」で使用することをお勧めします。
(元に戻すときは、ジョグダイヤルを右方向に回して「DEMO ON」にします)

4 SELを押す

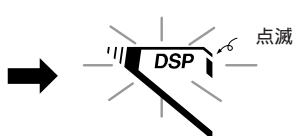
・元のソース(音源)表示に戻ります。
この場合、「時」が変わっても、文字表示部に時刻は移りません。

DSPの使いかた

- ・本機には、あらかじめ7つの音場がメモリーされています(これをメーカープリセットといいます)。ソースの音場にに合わせてジョグダイヤルを回わせれば、演奏会場や劇場の雰囲気再現されます。

●メーカープリセット音場の呼び出し

1 DSP/S ANAを押してDSPモードにする



・お買い上げ時は
DEFEAT
が表示されます。

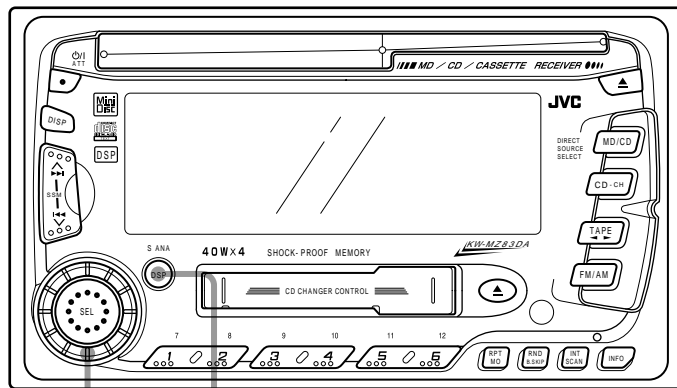
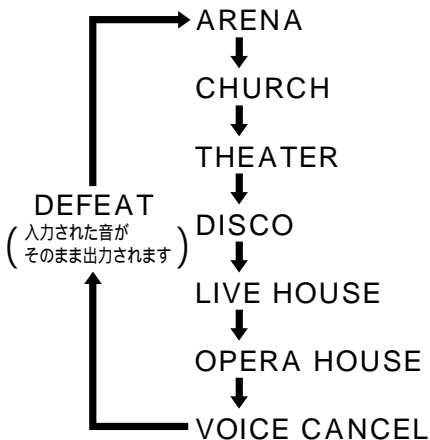
・押すごとにモード
が変わります。

2 ジョグダイヤルを回して音場を選ぶ



・左方向に回すと逆に変わります。ディフェイト以外にするとONが表示されます。

・10秒後にが点灯表示になります。

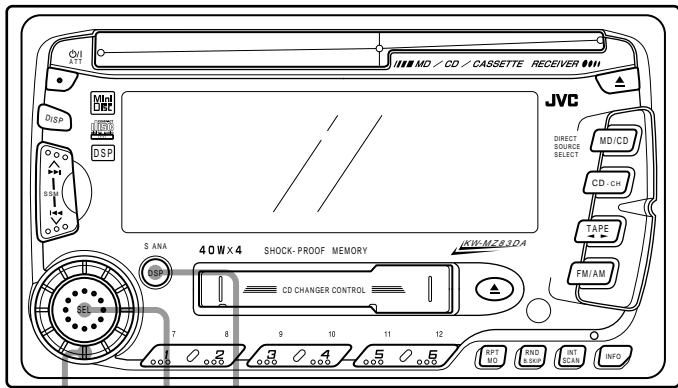


2 1

音 場	例えばこんな音楽の再生に
アリーナ	・野外で収録されたコンサートのライブ盤
チャーチ	・バロック音楽 ・ゴスペル調のソウルフルサウンド
シアター	・映画音楽 ・ビデオソフトの音声
ディスコ	・パワフルなロックやポップス系の曲
ライブハウス	・ヘビメタルやロックバンドの演奏
オペラハウス	・オペラやミュージカルなど
ボーカルキャンセル	・歌入りの曲をカラオケにすると

リスニングポジションの設定

- カーDSPの目的は、生演奏会場の臨場感を再現することですがこのためには、車室内の非対称音場の改善が必要になります。リスナーの位置に合わせてフォーカスのモードを選んでください。



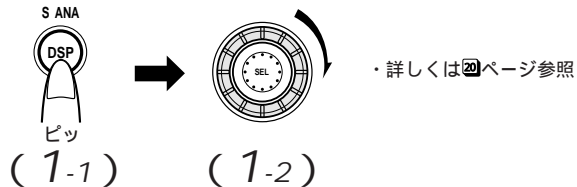
1-2・3 2 1-1

音場を好みの状態でメモリーするには

- 音場およびフォーカスのモードを選ぶ
- 音質、フェーダー、バランス、LOUDネスを調節する
→ 10ページ参照
- DSPボタンを2秒以上押す
 - 選んだ音場が点滅表示されメモリーされます。ただし音量はメモリーされません。

- フォーカスのモードの選択

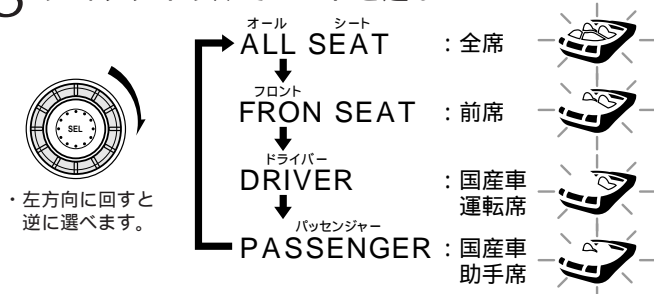
1 DSP/S ANA → ジョグダイヤルで音場を選ぶ



2 SELを7回押してフォーカスのモードにする

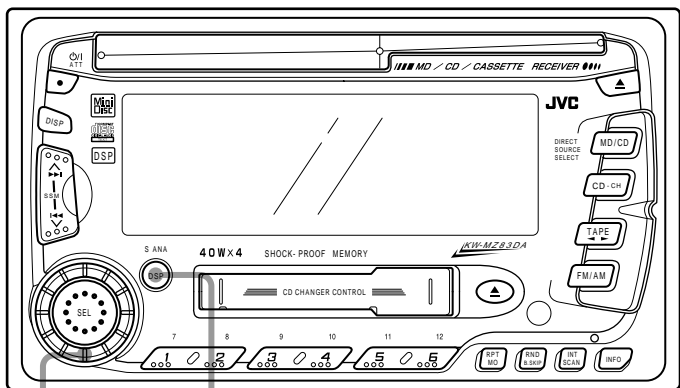


3 ジョグダイヤルでモードを選ぶ



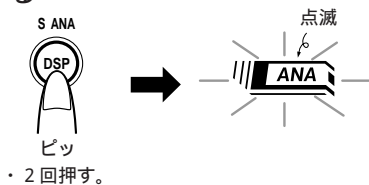
スペアナとして使うには

- お買い上げ時は、表示窓がスペアナ表示のALL DEMOになっております。ジョグダイヤルで表示を変えることができます。



• スペアナ表示の選択

1 DSP/S ANAを2回押してスペアナのモードにする



• 2回押す。

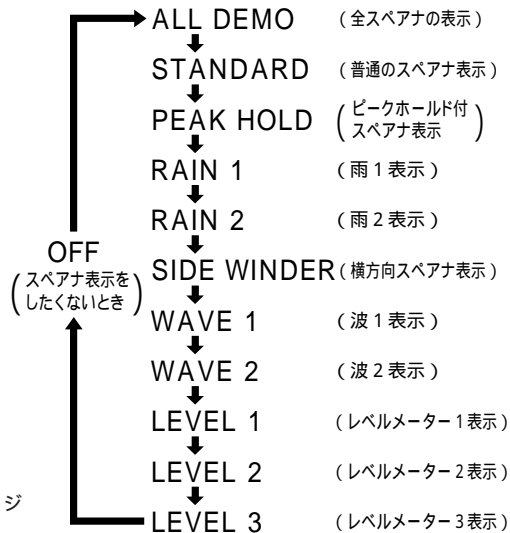
• お買い上げ時は
ALL DEMO
が表示されます。
スペアナの各モード
の表示をくり返します。

2 ジョグダイヤルを回してスペアナ表示を選ぶ



• 左方向に回すと
逆に選べます。

• 10秒後にファン
クション表示に
戻ります。
「ANA」表示が点
灯に変わります。



* 表示例は23ページ
にあります

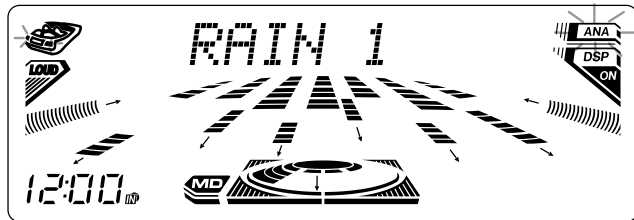
スタンダード
● STANDARD



ピーク ホールド
● PEAK HOLD



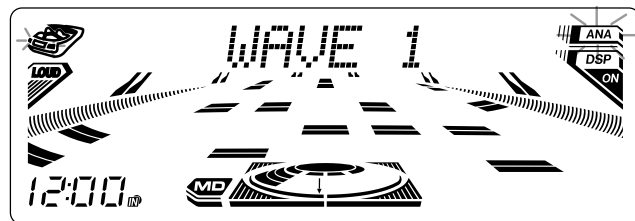
レイン
● RAIN 1



サイド ワインダー
● SIDE WINDER



ウェーブ
● WAVE 1



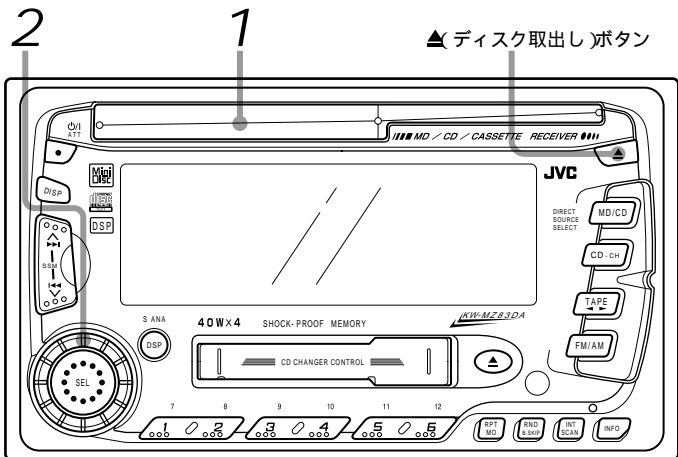
レベル
● LEVEL 1



スピーカーとして使うには

MDを聞く

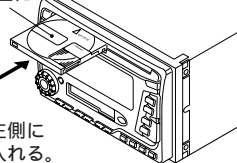
番号順に操作します。



1 MDを入れる


(電源が入り、演奏がスタートします)

ラベル面
を上

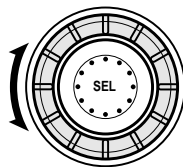


左側
に入れる。

→ MD 01 00'01"

・演奏中はMDが入っているとが表示されます。

2 ジョグダイヤルで音量を調節する



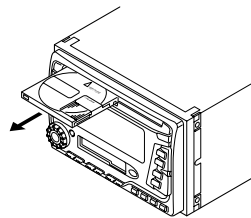
SEL VOL 10

MDを挿入するときは

- 故障を防止するため次のことを確認してください。
 - ・ラベル面を上にする。
 - ・挿入方向の⇨や⇩の表示に従って本体の左側に入れる。
 - ・無理に押し込まない。(途中で入れると自動で引き込まれます)
- ・ラベルのはがれかかったMDは使用しない。

- MDを取り出すときは▲(ディスク取出し)ボタンを押します。エンジンキーが「OFF」のときでも取り出せます。MDが出てきたのち電源が切れます。

(取らずにそのままにしておくと、15秒後に自動的に中に引き込まれます)



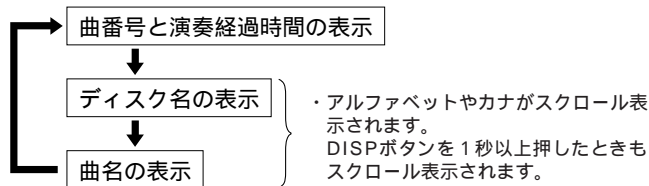
表示窓にディスク名を表示させるには

MDを挿入すると演奏がスタートし、表示窓に「ディスク名→曲名→曲番号と演奏経過時間」が順に表示されます。DISPボタンを「ボン・ボン」と押すと、ディスク名などを表示させることができます。



ピッ

・押すごとに変わります。



なお、MDにディスク名や曲名が記録されていないときは表示されません。「NO NAME」が表示されます。

お知らせ

スクロール表示は、お買い上げ時は1回自動でスクロールワンズ(ONCE)の状態になっています。AUTO(自動)またはOFF(切)に変えることもできます。⇒51ページ参照

●音量調節について

MD(CD)の演奏は、無音状態での雑音がほとんどありません。気づかずに大きめの音量に調節すると、思わぬ大きな音が出てスピーカーを破損する恐れがあります。電源を切る前に音量を下げてください、演奏がスタートしてから適度な音量に合わせてください。

●MDを入ると...

ソース(音源)は、自動的に「MD」になり演奏がスタートします。またMD演奏中に電源を切ったときは、電源を入れると自動的に演奏がスタートします。またモノラルで録音されたMDを入れると、自動的にモノラルで演奏されます。

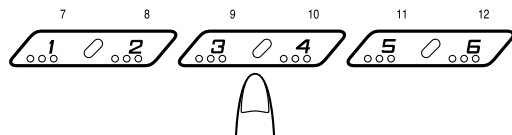
お知らせ

●モノラルで録音されたMDを演奏した場合、演奏時間が正確に表示されないことがあります。

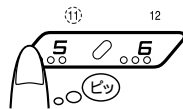
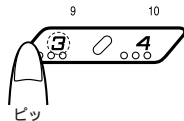
MDを聞く(つづき)

ダイレクト演奏

演奏中に聞きたい曲に合わせて曲番号ボタンを押すと、すぐその曲に移り演奏がスタートします。



- 1～6曲目を聞くときは...
聞きたい曲番号のボタンを「ポン」と押します。
例：3曲目のとき
- 7～12曲目を聞くときは...
聞きたい曲番号のボタンを1秒以上押します。
例：11曲目のとき



- 13曲目以上は、演奏中に Δ ボタンを押して聞きたい曲番号を選びます。➡24ページ「スキップ」演奏参照

1曲リピート演奏(くり返し演奏)

演奏中の曲だけをくり返して聞くことができます。



もう一度押すと、解除されます。



REPEAT ON

- 表示窓に「RPT」が表示されます。

ランダム演奏

演奏中のMDを、収録してある順に関係なくランダム(無作為)に聞くことができます。



もう一度押すと、解除されます。



RANDOM ON

- 表示窓に「RND」が表示されます。

イントロスキャン

イントロスキャン中は曲の頭を15秒ずつ演奏していきます。聞きたい曲が見つかったらイントロスキャンを解除します。



もう一度押すと、解除されます。

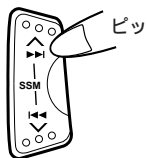


INTRO ON

- イントロスキャン中の曲番号が点滅します。

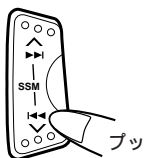
スキップ演奏(曲の頭出し)

- 演奏中に次の曲を聞くには...



・「ポン」と1回押すごとに次の曲の曲へと移り、頭から演奏が始まります。

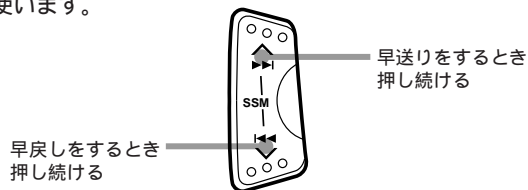
- 演奏中に前の曲を聞くには...



・「ポン」と1回押すと今演奏中の曲の頭に戻ります。もう一回押すと前の曲の頭に戻り、演奏が始まります。

サーチ演奏(早送り・早戻し)

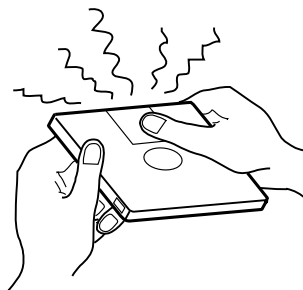
- 演奏中のMDの好みの位置を探るときは、早送り・早戻しの機能を使います。



サーチ速度は始めゆっくり、押し続けると速くなります。
このとき演奏音は通常の1/4程度の大きさで聞こえます。
指を離すと普通の演奏に戻ります。

お願い

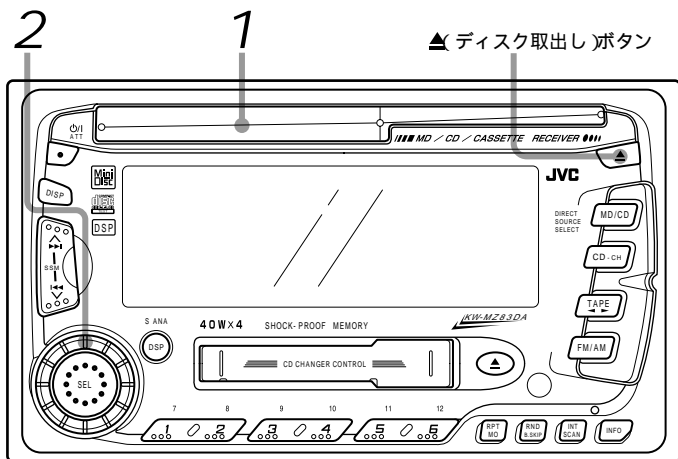
- MDを保管するときは
専用のケースに入れ、直射日光の当たる所、ダッシュボードの上などは避けて保管してください。
MDのカートリッジが変形すると、使用できなくなります。
- MDのシャッターについて
MDのシャッターは開かないようにロックされています。無理に開けると、ディスクがこわれます。



- MDカートリッジにラベルを張ってお使いになる場合
ラベルは、はがれないように端の方までしっかりと張りつけてください。万一、ラベルエリアよりはみ出したり、はがれかかったままお使いになると、MDが取り出せなくなったり、故障の原因になることがあります。

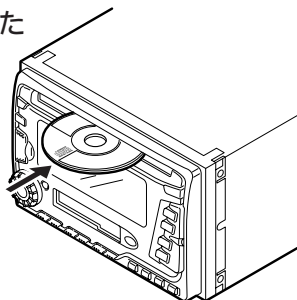
CDを聞く

番号順に操作します。



● 8センチCDの入れかた

8センチCDは、挿入口の中央から軽く押し入れます。



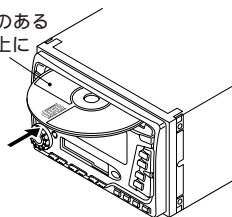
● CDを入れると...

ソース(音源)は、自動的に「CD」になり演奏がスタートします。またCD演奏中に電源を切ったときは、電源を入れると自動的に演奏がスタートします。


1 CDを入れる

(電源が入り、演奏がスタートします)

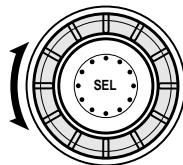
文字のある面を上



→ CD 01 00'01"

・演奏中はCDが入っているとが表示されます。

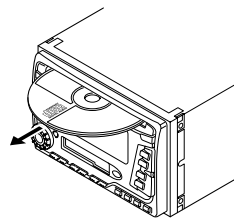
2 ジョグダイヤルで音量を調節する



SEL VOL 10

- CDを取り出すときは、▲(ディスク取出し)ボタンを押します。エンジンキーが「OFF」のときでも取り出せます。CDが出てきたのち電源が切れます。

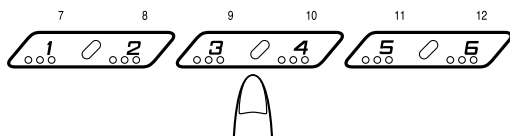
(取らずにそのままにしておくと、15秒後に自動的に中に引き込まれます)



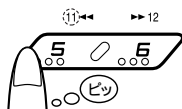
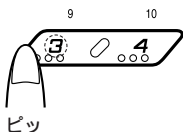
- 文字のある面にまたはのマークが入っている、JIS規格に合ったCDをお使いください。

ダイレクト演奏

演奏中に聞きたい曲に合わせて曲番号ボタンを押すと、すぐその曲に移り演奏がスタートします。



- 1～6曲目を聞くときは...
聞きたい曲番号のボタンを「ポン」と押します。
例：3曲目のとき
- 7～12曲目を聞くときは...
聞きたい曲番号のボタンを1秒以上押します。
例：11曲目のとき



- 13曲目以上は、演奏中に◀▶ボタンを押して聞きたい曲番号を選びます。→20ページ「スキップ演奏」参照

CD-Rディスクについて

お客様が編集したCD-Rディスクは、ファイナライズされているディスクに限り本機でお楽しみいただけます。

- CD-Rディスクをお使いになる前に、使用上の注意をよくお読みください。
- ディスクの特性・傷・汚れまたはプレーヤーのレンズの汚れ・結露などにより本機で演奏できないことがあります。
- CD-RW(リライタブル)ディスクは演奏できません。

1曲リピート演奏(くり返し演奏)

演奏中の曲だけをくり返して聞くことができます。



ピッ
もう一度押すと、解除されます。



・表示窓に「RPT」が表示されます。

ランダム演奏

演奏中のCDを、収録してある順に関係なくランダム(無作為)に聞くことができます。



ピッ
もう一度押すと、解除されます。



・表示窓に「RND」が表示されます。

イントロスキャン

イントロスキャン中は、曲の頭を15秒ずつ演奏していきます。聞きたい曲が見つかったらイントロスキャンを解除します。



ピッ
もう一度押すと、解除されます。

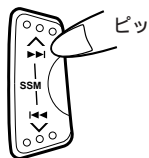


・イントロスキャン中の曲番号が点滅します。

CDを聞く(つづき)

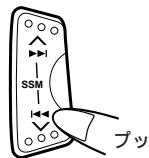
スキップ演奏(曲の頭出し)

- 演奏中に次の曲を聞くには...



・「ポン」と1回押すごとに次の曲次の曲へと
移り、頭から演奏が始まります。

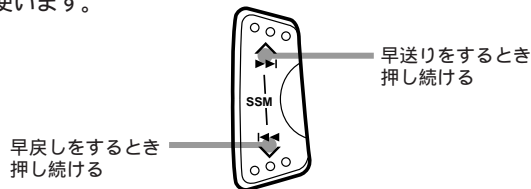
- 演奏中に前の曲を聞くには...



・「ポン」と1回押すと今演奏中の曲の頭に戻
ります。もう一回押すと前の曲の頭に戻り、
演奏が始まります。

サーチ演奏(早送り・早戻し)

- 演奏中のCDの好みの位置を探るときは、早送り・早戻しの機能を使
います。



サーチ速度は始めゆっくり、押し続けると速くなります。

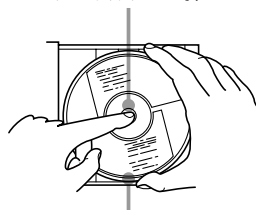
このとき演奏音は通常の1/4程度の大きさで聞こえます。

指を離すと普通の演奏に戻ります。

お願い

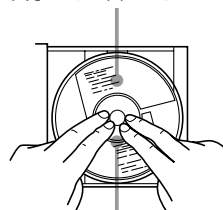
- CDを保管するときは
専用のケースに入れ、直射日光の当たる所、ダッシュボードの
上などは避けて保管してください。
- ケースからの出し入れ

センターホルダーを押さえ...



演奏面(虹色に光っている面)に
触れないように持って出す。

文字のある面を上にして...



上から押さえて入れる。

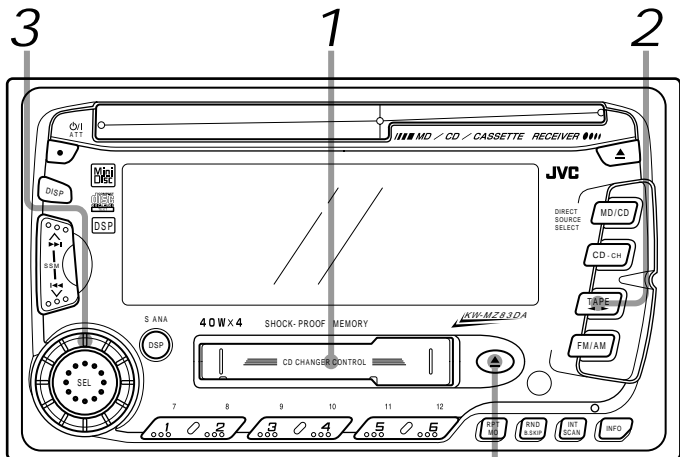
- ラベル面に紙を張ったり字を書いたりしないでください。
- CDは曲げないでください。



- ハートや花などの形をしたシェイプCD(特殊形状のCD)は、絶対
に使用しないでください。シェイプCDを入れると、故障の原因と
なります。
- 8センチCD用のアダプターは、使用しないでください。故障の
原因となります。

テープを聞く

番号順に操作します。



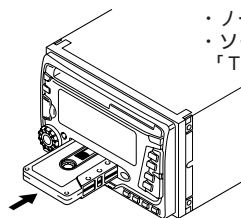
▲(テープ取出し)ボタン

キーオフリリース/キーオンプレイ機構について

本機はテープ再生中にエンジンキーを「OFF」にすると、キーオフリリース機構により自動的にヘッドをテープから離してメカニズムを待機状態にします。

再びエンジンキーを「ON」にすると自動的にテープ再生になります。

1 カセットを入れる⇒電源が入ります (上の面から自動で再生スタート)



- ・ノーマルテープ(タイプ)専用です。
- ・ソース(音源)は「テープ」になります。表示窓に「TAPE」と再生方向が表示されます。

➡ TAPE >>FWD>>

フォワード方向の再生の表示

- ・再生中は  が表示されます。

2 TAPE ◀▶を押して聞きたい面に合わせる

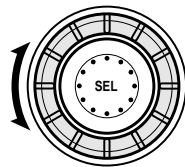


・上の面
(フォワード方向)の再生 : TAPE >>FWD>>

・下の面
(リバース方向)の再生 : TAPE <<REV<<

- ・「ポン」と押すごとに交互に変わります。

3 ジョグダイヤルで音量を調節する





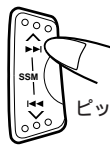
テープを聞く(つづき)

ミュージックスキャン(MS)の使いかた

ミュージックスキャンとは、曲と曲の間の録音されていないあき(ブランク)を検出して聞きたい曲のはじめを探す機能です。前後9曲までの曲を飛び越して再生することができます。


操作手順 例：上の面の3曲を飛び越すとき

1 テープを入れ、またはを「ポン・ポン」と3回押す



TAPES +3 MPMS

・3曲進むときの操作です。

(3曲戻すときはボタンを3回押します)自動選曲の状態になります。

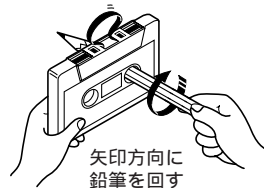
2 頭出しができると再生が始まります

● 頭出しの途中でテープが終わると

巻戻して巻き始めまで戻ったときは、その面の頭から再生状態になります。早送りして巻き終わりまで行くと反転し、反転した面の巻き始めから再生状態になります。

カセットテープの取り扱いかた

- ・テープにたるみがありますと、巻き込んだり、故障の原因になります。使用する前に右図のようにしてたるみを取り除いてください。
- ・テープを引きだしたり、テープ面にふれないでください。
- ・C 120などの長時間テープは薄いため、こきざみな走行や停止などをくり返すと、テープが機械の内部に巻き込まれることがありますのでご注意ください。



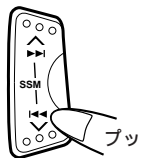
カセットテープの保管

- ・カセットテープはケースなどに納め、次のような場所は避けて保管してください。
- ・直射日光の当たる所
- ・ホコリや湿気の多い所
- ・スピーカーの上など磁気の影響を受けやすい所

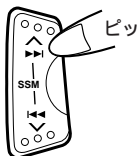
ご注意

- クラシック音楽などで音が非常に小さい部分が長く続く曲や曲と曲の間が短すぎたり、雑音が録音されているとミュージックスキャンやブランクスキップが正常に動作しないことがあります。ブランクが4秒以上あるテープを使ってください。
- ミュージックスキャンの機能は、テープを取り出すと取り消されますが、ブランクスキップの機能は残ります。

テープを早送りしたり巻戻す



- テープを巻戻すとき1秒以上押す。表示窓に「REW」が表示され、巻き始めまで戻るとその面の再生を始めます。



- テープを早送りするとき1秒以上押す。表示窓に「FF」が表示され、巻き終わりまで早送りすると反転してその面の巻き始めから再生します。

- 動作の途中で再生状態にしたいときは、TAPE ◀▶ ボタンを「ポン」と押します。
- 早送りや巻戻し動作中は、テープ走行方向表示が早く点滅します。

ブランクスキップの使いかた



ピッ

- 押すと表示窓に「B.SKIP」が表示されます。

- ブランクスキップは、曲の終わりのあき(ブランク)を聞きたくないとき使います。再生中に15秒以上のブランクが続くと、自動的に早送り選曲となり次の曲を見つけると再び再生を始めます。

使えるカセットテープは

本機はノーマルテープ(TYPE タイプ)専用です。
ハイポジションテープ(TYPE)やメタルテープ(TYPE)は、お勧めできません。

くり返して聞く リピート - RPTボタンの使いかた -

再生中の曲をくり返して聞きたいときRPTボタンを押します。表示窓に「RPT」が表示され、くり返し再生になります。やめるときは、もう一度RPTボタンを押すかまたはテープを取り出します。ソース(音源)を切換えたり他のボタンを押したときも解除されます。



ピッ

テープを聞く(つづき)

テープを取り出すには



ピッ

▲(テープ取出し)ボタンを押します。テープを入れる前のファンクションになります。本機はエンジンキーが「OFF」のときでもテープが入っていれば、▲(テープ取出し)ボタンでテープが取り出せませす。この場合、テープが出てくると自動で電源が切れます。

ヘッド部の清掃

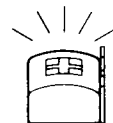
ヘッドは音をひろい出す大切な部分です。

ヘッドが汚れると

- 音質が悪い。
- 音が小さい。
- 音がとぎれる。

などの症状がでます。

症状がでてくる前に(およそ10時間使うごと)に、別売りのオートヘッドクリーナー「CK-6型」を使ってヘッド部を清掃してください。詳しくはオートヘッドクリーナーの説明書を参照してください。



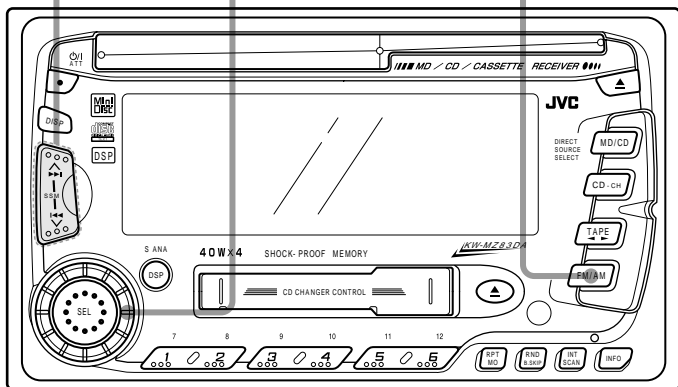
ラジオを聞く

番号順に操作します。

マニュアル選局

.....電波の弱い放送局を受信したり、聞きたい放送局の周波数が分かっているときなどに使います。

3・4 5 1・2



● マニュアル選局のモードは...

選局の操作から5秒後に、マニュアル選局のモードは自動的に解除されます。シーク選局(→30ページ参照)のモードになります。

ご注意

- 交通安全のため、運転中は本機を操作しないでください。必ず停車時に操作してください。

1 FM/AMでソース(音源)を「ラジオ」にする →電源が入ります



・電源が入ると自動的に前の放送局を受信できます。

(FM放送の場合)
FMが表示されます



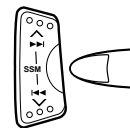
・表示窓にバンドと周波数が表示されます。
お買い上げ時は、FM1 1ch 76.0が表示されます。

2 FM/AMでバンドを選ぶ



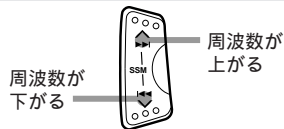
・押すごとに
FM1 → FM2
↑ ↓
AM2 ← AM1
と変わります。
・AM放送はモノラル受信です。

3 ◀または▶でマニュアル選局のモードにする



・◀または▶ボタンを1秒以上押し表示窓に「MANU」を点滅させます。

4 ◀または▶で放送局に合わせる



周波数が下がる

周波数が上がる

・1回押すとFMは0.1MHz、AMは9kHzずつ移動し、押し続けると連続して変わります。

5 ジョグダイヤルで音量を調節する




テープを聞く(つづき)・ラジオを聞く

ラジオを聞く(つづき)


番号順に操作します。


プリセット選局

本機はPLLシンセサイザーに電子選局と、周波数を記憶しておくメモリー回路が内蔵されていますので、いったんメモリーしておけばあとはプリセットボタンを押すだけで正確な受信ができます。

- 操作例：FM放送の81.3MHzにある局をプリセットボタンにメモリーするには...

1 FM/AMで「FM1」を選ぶ → **FM1**

2 選局ボタン(または)で希望の放送局に合わせる

3 プリセットボタンの「」を2秒以上押す





- バンドごとに6局ずつメモリーできますので、上記の操作例を参考にお好きな順序でプリセットボタンにメモリーしてください。AM放送の場合でも同じ手順でメモリーできます。

ご注意

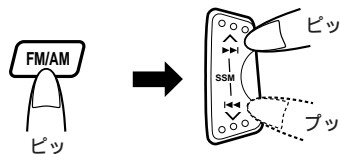
- バッテリーの交換等でメモリー回路への電源供給が途切れるとメモリーした局や時刻の設定は、すべて取り消されます。このようなときはもう一度メモリー操作と、時刻合わせをしてください。

シーク選局(自動選局)

「MANU」が表示窓に表示されていないときは、またはの選局ボタンを「ポン」と押すだけでチューナーが自動的に放送局を探してくれます。これをシーク選局(自動選局)といいます。

希望する放送局の周波数を正確に覚えていないときなどにお使いください。

例：FM放送のとき



- FM1またはFM2を選ぶ。

「ポン」と押しと離す。

- 「SEEK」が表示され放送局が見つかると、選局が自動停止します。

お知らせ

- シーク選局(またはマニュアル選局)中にプリセット済みの放送局を受信すると、そのプリセット番号の数字が表示されます。これにより放送局がどのボタンにメモリーされているか分かります。

MOボタンの使いかた



FMステレオ放送受信時に電波状態が悪くて雑音が多いとき、このボタンで切替えます。表示窓に「MONO」が表示されモノラル受信モードになり、聞きやすくなります。

電波状態が良好になったら「STEREO」表示に戻してお使いください。

SSM(ストロングステーションメモリー)の使いかた

チューナーが自動的に電波の強い放送局を、周波数の低い順に6局までメモリーしてくれます。

旅行先などで放送局を探すときに便利です。

●操作例：FM 1 にメモリーするとき

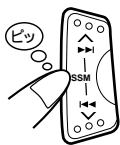
1 FM/AMでバンドを選ぶ(FM 1 にする)



FM1

(選んだバンド
ごとにメモリー
できます)

2 上と下の中央を2秒以上押す



FM1 --- SSM ---

・チューナーが放送局を探し、自動的に電波の強い放送局を、周波数の低い順に、プリセットボタンの ~ にメモリーしていきます。(前のメモリー内容は取り消されます)

中央を2秒以上押す。

3 放送局が6局メモリーされるとプリセット1の表示になります

・プリセットボタン(~)を押して聞きたい放送局を選びます。(放送局が6局より少ないときは、前のメモリー内容が残ります)

アンテナリモートについて

電動アンテナ装備車およびアンテナブースター装備車の場合は、**オートアンテナ** コードを車両側の対応する端子(オートアンテナ)に接続してください。ファンクションを「ラジオ」のモードにすると自動的にアンテナ(ブースター)側に電源が供給されます。CDチェンジャー「やCD」、「MD」などにファンクションを切換えると、自動的にアンテナ側への電源が切れます。

(**オートアンテナ** の最大コントロール電流は250mAです)

オートアンテナ コードを接続しても、コントロール電流が過大で放送の受信がうまくできないときは、**リモート出力** に接続し直してください。

この場合、どのモードでもアンテナ(ブースター)側に電源が供給されます。

スキャン選局



SCANボタンを押すと、「SCAN」が表示され自動的に周波数が高い方に移動して放送局を探します。放送を受信するごとに表示の周波数が点滅し、約5秒間モニターしていきます。

聞きたい放送局のところでもう一度、SCANボタンを押すとスキャン選局を停止し、その放送を継続して聞くことができます。

ラジオを聞く(つづき)

道路交通情報を聞く



ピッ

高速道路などの特定地域では、AM1,620kHzで道路交通情報を聞くことができます。

聞きたいところでINFOボタンを押すと、ソース(音源)に関係なく1,620kHzが受信できます。

INFO 1620

- INFOボタンを押して放送を聞いている状態では、放送局名を表示させることはできません。
- このモードのときはボリュームが独立しており、交通情報を聞く場合にのみ音量を上げることができます。もう一度押すと元のソース(音源)に戻り、音量も元に戻ります。
- なお、別の放送局を受信中にINFOボタンを2秒以上押すと、その放送局と音量がINFOボタンにメモリーされます。

CDテキストについて

CDテキストについて

CD TEXT

**COMPACT
disc
DIGITAL AUDIO
TEXT**

「CDテキスト」は、今までの音楽CDにアルバムタイトルや曲名、アーティスト名などの文字情報を追加した、音楽CDの新しい機能です。

本機にCDテキスト対応のCDを入れたり、CDテキスト対応のCDチェンジャー：CH-X120α(別売り)を接続し、CDテキスト対応のCDを演奏するとアルファベットや数字で「CDテキスト」データを表示します。

● CDテキストの情報を見るには

CDテキスト対応のCDの演奏がスタートすると、表示窓に

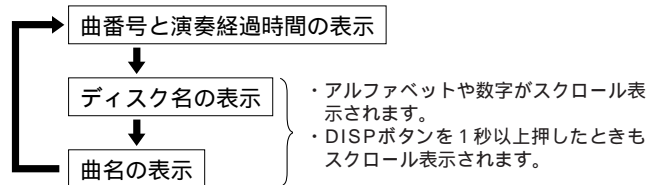
「ディスク名→曲名→曲番号と演奏経過時間」が順に表示されます。

DISPボタンを「ボン・ボン」と押すと、ディスク名などを表示させることができます



ピッ

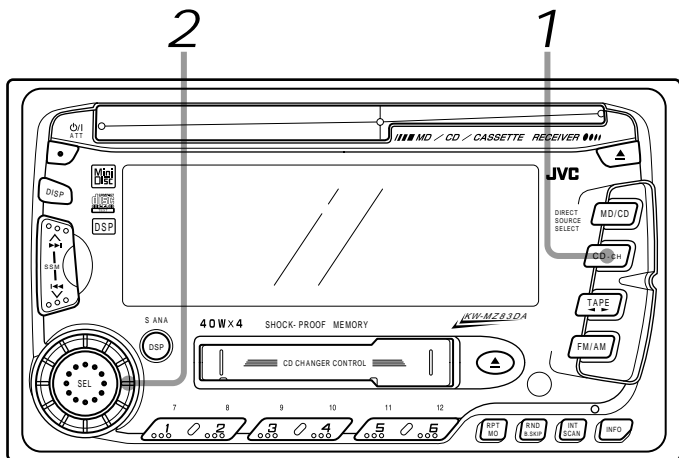
- ・ 押すごとに変わります。



CDチェンジャーのCDを聞く

番号順に操作します。

全曲演奏 - マガジンはあらかじめCDを入れておいてください。 -



1 CD-CHでソース(音源)を「CDチェンジャー」にする⇒電源が入ります

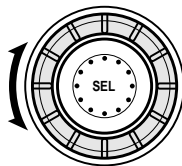


・CDチェンジャーを演奏中に電源を切ったときは、電源が入ると自動的に演奏が始まります。

1-01 00'01"

・演奏中は  が表示されます。

2 ジョグダイヤルで音量を調節する



SEL VOL 10

● CD-CHボタンを押しても「CDチェンジャー」に切り換えができないときは...

CD-CHボタンのモードを「LINE INPUT」から「CDチェンジャー」のモードに変えます。⇒  ページ参照

● 最後の曲の演奏が終わると、自動的に次のCDの演奏が始まります。(全CDのくり返し演奏になります)

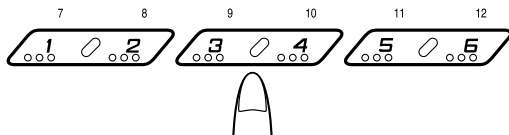
● 演奏を途中でやめる
FM/AMやMD/CDボタンを押して他のソース(音源)に切り換えます。

ラジオを聞く(つづき)・CDチェンジャーのCDを聞く

CDチェンジャーのCDを聞く(つづき)

CDダイレクト選択ボタンの使いかた

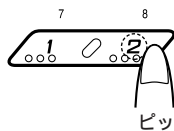
聞きたいCDが分かっているときは、CDダイレクト選択ボタンを使うと便利です。CDが選ばれると、選んだCDの1曲目から演奏が始まります。



聞きたいCDが入っているディスクトレイの番号に合わせてボタンを押します。(マガジンの中から順に1・2・3...となっています)

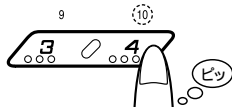
- ・ 1 ~ 6 枚目を選ぶときは：ボタンに表示されている番号を目安にボタンを「ポン」と押します。

例：2枚目のとき



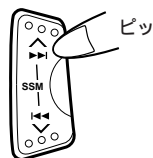
- ・ 7 ~ 12枚目を選ぶときは：ボタンの上のパネル面に表示されている番号を目安にボタンを1秒以上押します。

例：10枚目のとき



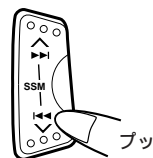
スキップ演奏(曲の頭出し)

演奏中に次の曲を聞くには



- ・ 「ポン」と1回押すごとに次の曲次の曲へと移り、頭から演奏が始まります。

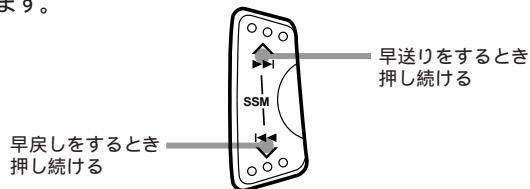
演奏中に前の曲を聞くには



- ・ 「ポン」と1回押すと今演奏中の曲の頭に戻ります。もう1回押すと前の曲の頭に戻り、演奏が始まります。

サーチ演奏(早送り・早戻し)

- ・ 演奏中の曲の途中の位置を探すときは、早送り・早戻しの機能を使います。

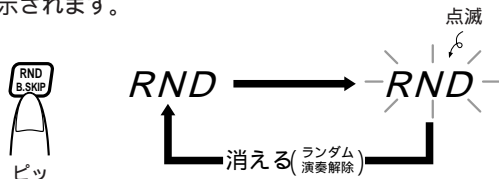


サーチ速度は始めゆっくり、押し続けると速くなります。このとき演奏音は通常の1/4程度の大きさで聞こえます。指を離すとふつうの演奏に戻ります。

ランダム演奏

ランダム

- ・RNDボタンを使うとCDの収録順に関係なく、ランダムな順番で聞くことができます。表示窓に「RANDOM1」または「RANDOM2」が表示されます。

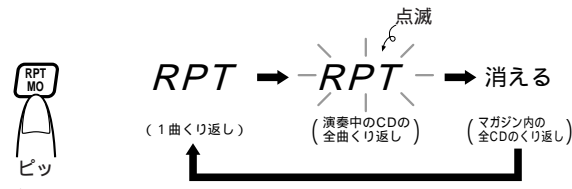


- ・押すごとに次のように動作します。
- ・RANDOM1 : 演奏中のCDでランダム演奏をします。始めのCDの演奏が終わると次のCDでランダム演奏になります。
(RNDが表示窓に点灯しています)
- ・RANDOM2 : マガジン内の全てのCDでランダム演奏をします。
(RNDが表示窓で点滅しています)

リピート演奏(くり返し演奏)

リピート

- ・RPTボタンを使うと演奏中の曲をくり返して聞くことができます。表示窓に「REPEAT1」または「REPEAT2」が表示されます。

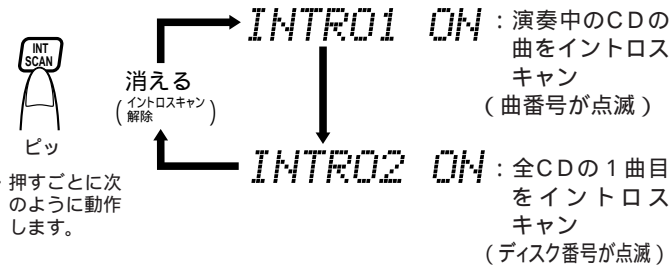


- ・押すごとに次のように動作します。
- ・ **RPT** : 演奏中の1曲をくり返して聞くことができます。
(REPEAT1)
- ・ **-RPT-** : 演奏中のCDの全曲をくり返して聞くことができます。(REPEAT2)

イントロスキャン

イントロ

- ・INTボタンを使うと聞きたい曲やCDが素早く探せます。曲の頭を15秒ずつ演奏します。

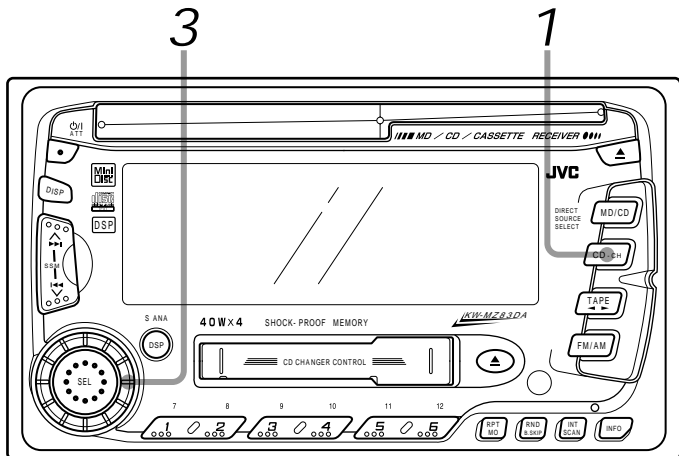


- ・押すごとに次のように動作します。

他の機器の音を聞く

番号順に操作します。

- あらかじめCD-CHボタンを「LINE INPUT」のモードに切換えておきます。→4ページ参照



1 CD-CHを押す→電源が入ります



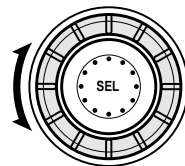
➔ **LINE INPUT**

・表示窓に **LINE IN** が表示されます。

2 接続した機器を演奏状態にする

・接続した機器に音量調節があるときは、できるだけ大きく調節しておきます。

3 ジョグダイヤルで音量を調節する



お知らせ

- 他の機器は、変換コード：KS-U5X(別売り)を使ってCDチェンジャー端子に接続します。すでにCDチェンジャーが接続されている場合は、ご利用になれません。

CD-CHボタンのモードを変更するには

CDチェンジャー端子に他のカーAV機器を接続したときは、CD-CHボタンのモードを「LINE INPUT」に変えます。ソース(音源)は「CDチェンジャー」以外にしておきます。

1 SELを2秒以上押す

・お買い上げのときは「PSM CLOCK H」が表示されます。

2 ▲(または▼)を「ポン・ポン」と押して「PSM LINE IN」を選ぶ

3 ジョグダイヤルで「LINE INPUT」にする



・CDチェンジャーを接続したときは、左方向に回して「CD CHANGER」に戻します。「CDチェンジャー」のモードになります。

4 SELを押す

・元のソース(音源)表示に戻ります。

お知らせ

- ・ソース(音源)が「CDチェンジャー」のときは、手順2のとき「PSM LINE IN」にはなりません。

カーAV機器の入力の音を大きくするには

CDチェンジャー端子に接続したカーAV機器の音がMDやCDより小さいときは、ライン入力の音を大きくすることができます。

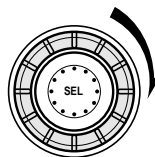
1 CD-CHを押して「LINE INPUT」にする

2 SELを2秒以上押す

・お買い上げのときは「PSM CLOCK H」が表示されます。

3 ▲(または▼)を「ポン・ポン」と押して「PSM LINE ADJ」を選ぶ

4 ジョグダイヤルでレベルを調節する



・「LINE ADJ 00~05」の範囲で調節できます。

5 SELを押す

・元のソース(音源)表示に戻ります。

表示窓の明るさ / コントラストを変える

番号順に操作します。

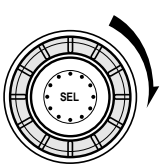
表示窓の明るさを変えるには

1 SELを2秒以上押す

・お買い上げのときは「PSM CLOCK H」が表示されます。

2 (または)を「ポン・ポン」と押して「PSM DIMMER」を選ぶ

3 ジョグダイヤルでディマラーのモードを選ぶ



・左方向に回すと逆に選べます。

DIMMER ^{オート}AUTO : 車のイルミネーションと連動
(車両のライトを「ON」にすると、表示窓の明るさも下がります)
あらかじめイルミネーションコードを車両側のイルミ電源に接続しておきます。

DIMMER OFF : ディマラー「オフ」

DIMMER ON : 常時ディマラー「オン」
(表示窓の明るさが下がります)

4 SELを押す

・元のソース(音源)表示に戻ります。

表示窓のコントラストの調節

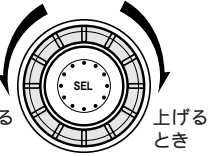
表示窓の文字表示部が見えにくいときには、コントラストを調節します。

1 SELを2秒以上押す

・お買い上げのときは「PSM CLOCK H」が表示されます。

2 (または)を「ポン・ポン」と押して「PSM CONTRAST」を選ぶ

3 ジョグダイヤルでコントラストを調節する



・「CONTRAST 1～10」までの範囲で調節できます。運転席から表示窓を見て、見やすくなるように設定します。

・お買い上げ時は、「CONTRAST 5」になっています。

4 SELボタンを押す

・元のソース(音源)表示に戻ります。

CDの名前や放送局名などを表示させる

表示の概要

CDの名前、放送局名を表示することができます。

ソース(音源)	表示する名前	文字数
CD/CDチェンジャー*	ディスク名	1枚当たり最大32文字 を40枚分まで記憶
ラジオ	放送局名	40局分を最大12文字ずつ (自動で表示するとき は含まず)

* CDテキストの表示を変えることはできません。

- MDの場合は、すでにMDにタイトル名や曲名が記録されているときに限り表示されます。本機で記憶させることはできません。また漢字で記録されているMDのタイトル名や曲名を本機で表示することはできません。

放送局名を自動で表示させるには

本機をご利用になる地域の放送局を受信したときは、自動で放送局名を表示させることができます。

放送局名と表示名は、**[4]** ~ **[9]** ページをご覧ください。

1 SELを2秒以上押し

・ お買い上げのときは「PSM CLOCK H」が表示されます。

2 ⏻(または⏮)を「ポン・ポン」と押して「PSM STATION」を選ぶ

3 ジョグダイヤルを回してご利用の地域を選ぶ



関東地方を選んだときの表示

ホッカイドウ ↔ トウホク ↔ **カントウ** ↔ チュウブ
↓ ↓
エリア ナシ ↓ キンキ
↓ ↓
オキナワ ↔ キュウシュウ ↔ シコク ↔ チュウゴク

・ お買い上げのときは「エリア ナシ」になっています。

4 SELを押す

・ 放送局名が表示されるようになります。

	放送局名	ステーションネーム	場所	周波数
北海道(FM)	AIR-G'	AIR-G'	札幌	80.4MHz
	FMノースウェーブ	FMノースウェーブ	"	82.5MHz
	NHK-FM	NHK-FM	"	85.2MHz
	"	"	旭川	85.8MHz
	"	"	北見	86.0MHz
	"	"	函館	87.0MHz
北海道(AM)	"	"	帯広	87.5MHz
	"	"	室蘭	88.0MHz
	"	"	釧路	88.5MHz
	NHK第1	NHKダイ1	札幌	567kHz
	"	"	釧路	585kHz
	"	"	帯広	603kHz
	"	"	旭川	621kHz
	STVラジオ	STVラジオ	函館	639kHz
	NHK第1	NHKダイ1	"	675kHz
	NHK第2	NHKダイ2	北見	702kHz
	"	"	札幌	747kHz
	HBCラジオ	HBCラジオ	旭川	864kHz
	"	"	室蘭	864kHz
	STVラジオ	STVラジオ	函館	882kHz
	HBCラジオ	HBCラジオ	釧路	900kHz
	STVラジオ	STVラジオ	網走	909kHz
	NHK第1	NHKダイ1	室蘭	945kHz
	STVラジオ	STVラジオ	帯広	1,071kHz
NHK第2	NHKダイ2	室蘭	1,125kHz	
"	"	帯広	1,125kHz	
"	"	釧路	1,152kHz	
NHK第1	NHKダイ1	北見	1,188kHz	
STVラジオ	STVラジオ	旭川	1,197kHz	
HBCラジオ	HBCラジオ	帯広	1,269kHz	

	放送局名	ステーションネーム	場所	周波数	
北海道(AM)	HBCラジオ	HBCラジオ	札幌	1,287kHz	
	"	"	稚内	1,368kHz	
	"	"	釧路	1,404kHz	
	STVラジオ	STVラジオ	札幌	1,440kHz	
	HBCラジオ	HBCラジオ	網走	1,449kHz	
	NHK第2	NHKダイ2	函館	1,467kHz	
	HBCラジオ	HBCラジオ	名寄	1,494kHz	
	NHK第2	NHKダイ2	旭川	1,602kHz	
	東北海道(FM)	FM岩手	FMイワテ	盛岡	76.1MHz
		FM仙台	Date FM	仙台	77.1MHz
エフエム青森		エフエムアオモリ	青森	80.0MHz	
FM山形		FMヤマガタ	山形	80.4MHz	
ふくしまFM		フクシマFM	郡山	81.8MHz	
NHK-FM		NHK-FM	山形	82.1MHz	
"		"	仙台	82.5MHz	
FM秋田		FMアキタ	秋田	82.8MHz	
NHK-FM		NHK-FM	盛岡	83.1MHz	
"		"	福島	85.3MHz	
東北海道(AM)	"	"	青森	86.0MHz	
	"	"	秋田	86.7MHz	
	NHK第1	NHKダイ1	盛岡	531kHz	
	"	"	山形	540kHz	
	IBC岩手放送	IBCイワテホウソウ	盛岡	684kHz	
	NHK第2	NHKダイ2	秋田	774kHz	
	NHK第1	NHKダイ1	仙台	891kHz	
	東北海道(AM)	山形放送	ヤマガタホウソウ	山形	918kHz
		秋田放送	アキタホウソウ	秋田	936kHz
		NHK第1	NHKダイ1	青森	963kHz
NHK第2		NHKダイ2	仙台	1,089kHz	
青森放送		アオモリホウソウ	青森	1,233kHz	
東北放送		トウホクホウソウ	仙台	1,260kHz	

・1999年9月現在の主な放送局と周波数です。

CDの名前や放送局名などを表示させる(つづき)

	放送局名	ステーションネーム	場所	周波数
東 北 (FM)	NHK第1	NHKダイ1	福島	1,323kHz
	NHK第2	NHKダイ2	盛岡	1,386kHz
	ラジオ福島	ラジオフクシマ	福島	1,458kHz
	NHK第1	NHKダイ1	秋田	1,503kHz
	NHK第2	NHKダイ2	山形	1,521kHz
	AFN	AFN	三沢	1,575kHz
NHK第2	NHKダイ2	福島	1,602kHz	
関 東 地 方 (FM)	インター FM	インターFM	東京	76.1MHz
	FM 栃木	レディオ・ベリー	宇都宮	76.4MHz
	放送大学	ハウソウダイガク	東京	77.1MHz
	BAY-FM	FM-FM	船橋	78.0MHz
	FM-FUJI	FM-FUJI	三ツ峠	78.6MHz
	放送大学	ハウソウダイガク	前橋	78.8MHz
	NACK 5	NACK 5	浦和	79.5MHz
	TOKYO FM	TOKYO FM	東京	80.0MHz
	NHK-FM	NHK-FM	宇都宮	80.3MHz
	"	"	千葉	80.7MHz
J-WAVE	J-WAVE	東京	81.3MHz	
NHK-FM	NHK-FM	前橋	81.6MHz	
"	"	横浜	81.9MHz	
"	"	東京	82.5MHz	
"	"	水戸	83.2MHz	
FMヨコハマ	FMヨコハマ	横浜	84.7MHz	
NHK-FM	NHK-FM	浦和	85.1MHz	
FM群馬	FMゲンマ	前橋	86.3MHz	
関 東 地 方 (AM)	NHK第1	NHKダイ1	東京	594kHz
	NHK第2	NHKダイ2	"	693kHz
	AFN	AFN	"	810kHz
	TBSラジオ	TBSラジオ	"	954kHz
	文化放送	ブンカハウソウ	"	1,134kHz
	茨城放送	イバラキハウソウ	水戸	1,197kHz

	放送局名	ステーションネーム	場所	周波数
關 東 地 方 (AM)	ニッポン放送	ニッポンハウソウ	東京	1,242kHz
	ラジオ日本	ラジオニッポン	横浜	1,422kHz
中 部 地 方 (FM)	栃木放送	トチギハウソウ	宇都宮	1,530kHz
	FM福井	FMフクイ	福井	76.1MHz
中 部 地 方 (FM)	FM新潟	FMニイガタ	新潟	77.5MHz
	ZIP FM	ZIP FM	名古屋	77.8MHz
	K-MIX	K-MIX	静岡	79.2MHz
中 部 地 方 (FM)	FM長野	FMナガノ	美ヶ原	79.7MHz
	FM石川	FMイシカワ	金沢	80.5MHz
	FM AICHI	FMA	名古屋	80.7MHz
	NHK-FM	NHK-FM	富山	81.5MHz
	"	"	金沢	82.2MHz
	"	"	新潟	82.3MHz
	"	"	名古屋	82.5MHz
	FM とやま	FM トヤマ	富山	82.7MHz
	FM-FUJI	FM-FUJI	坊ヶ峰	83.0MHz
	NHK-FM	NHK-FM	福井	83.4MHz
"	"	岐阜	83.6MHz	
"	"	長野	84.0MHz	
"	"	甲府	85.6MHz	
"	"	静岡	88.8MHz	
中 部 地 方 (AM)	NHK第2	NHKダイ2	静岡	639kHz
	NHK第1	NHKダイ1	富山	648kHz
	"	"	名古屋	729kHz
	北日本放送	キタニッポンハウソウ	富山	738kHz
	YBSラジオ	YBSラジオ	甲府	765kHz
NHK第1	NHKダイ1	長野	819kHz	

	放送局名	ステーションネーム	場所	周波数
中部地方(FM)	NHK第1 福井放送	NHKダイ1 フクイハウソウ	新潟 福井	837kHz 864kHz
	NHK第1	NHKダイ1	静岡	882kHz
	NHK第2	NHKダイ2	名古屋	909kHz
	NHK第1	NHKダイ1	福井	927kHz
	"	"	甲府	927kHz
	NHK第2	NHKダイ2	富山	1,035kHz
	CBCラジオ 信越放送	CBCラジオ シンエツハウソウ	名古屋 長野	1,053kHz 1,098kHz
	北陸放送	ホクリクハウソウ	金沢	1,107kHz
	新潟放送	ニイガタハウソウ	新潟	1,116kHz
	NHK第1	NHKダイ1	金沢	1,224kHz
中部地方(FM)	東海ラジオ	トウカイラジオ	名古屋	1,332kHz
	NHK第2	NHKダイ2	金沢	1,386kHz
	静岡放送	シズオカハウソウ	静岡	1,404kHz
	岐阜ラジオ	ギフラジオ	岐阜	1,431kHz
	NHK第2	NHKダイ2	長野	1,467kHz
	"	"	福井	1,521kHz
	"	"	新潟	1,593kHz
	"	"	甲府	1,602kHz
近畿地方(FM)	FM CO・CO・LO E-Radio	FM CO・CO・LO E-Radio	生駒山 滋賀	76.5MHz 77.0MHz
	Kiss-FM KOBE	Kiss-FM KOBE	姫路	77.6MHz
	FM 三重	FM ミエ	津	78.9MHz
	FM 802	FM 802	大阪	80.2MHz
	NHK-FM	NHK-FM	津	81.8MHz
近畿地方(FM)	"	"	京都	82.8MHz
	"	"	大津	84.0MHz
	"	"	和歌山	84.7MHz
	FM 大阪	fm osaka	大阪	85.1MHz

	放送局名	ステーションネーム	場所	周波数
近畿地方(AM)	NHK-FM	NHK-FM	神戸	86.5MHz
	"	"	奈良	87.4MHz
	"	"	大阪	88.1MHz
	FM 京都	-STATION	京都	89.4MHz
	Kiss-FM KOBE	Kiss-FM KOBE	神戸	89.9MHz
	AM KOBE	AM KOBE	神戸	558kHz
	NHK第1	NHKダイ1	大阪	621kHz
	"	"	大阪	666kHz
	NHK第2	NHKダイ2	大阪	828kHz
	ABCラジオ KBS京都	ABCラジオ KBSキョウト	京都	1,008kHz 1,143kHz
中国地方(FM)	MBSラジオ ラジオ大阪 和歌山放送	MBSラジオ ラジオオオサカ ワカヤマハウソウ	大阪 和歌山	1,179kHz 1,314kHz 1,431kHz
	FM岡山	FMオカヤマ	岡山	76.8MHz
	エフエム山陰	エフエムサンイン	松江	77.4MHz
	広島FM	ヒロシマFM	広島	78.2MHz
	FM山口	FMヤマグチ	山口	79.2MHz
中国地方(AM)	NHK-FM	NHK-FM	山口	84.5MHz
	"	"	山口	85.3MHz
	"	"	鳥取	85.8MHz
	エフエム山陰 NHK-FM	エフエムサンイン NHK-FM	浜田 岡山	86.6MHz 88.3MHz
	"	"	岡山	88.7MHz
中国地方(AM)	NHK第1	NHKダイ1	岡山	603kHz
	"	"	山口	675kHz
	NHK第2	NHKダイ2	山陰	702kHz
	山口放送 山陰放送	ヤマグチハウソウ サンインハウソウ	徳島 米子	765kHz 900kHz
	NHK第1	NHKダイ1	下関	1,026kHz

CDの名前や放送局名などを表示させる(つづき)

	放送局名	ステーションネーム	場所	周波数
中国地方(AM)	NHK第1	NHKダイ1	広島	1,071kHz
	NHK第2	NHKダイ2	鳥取	1,125kHz
	NHK第1	NHKダイ1	松江	1,296kHz
	中国放送	チュウゴクハウソウ	広島	1,350kHz
	NHK第1	NHKダイ1	鳥取	1,368kHz
" "	NHK第2	NHKダイ2	山口	1,377kHz
	"	"	岡山	1,386kHz
	山陽放送	サンヨウハウソウ	岡山	1,494kHz
	AFN	AFN	山口	1,575kHz
NHK第2	NHKダイ2	松江	1,593kHz	
四国地方(FM)	FM香川	FMカガワ	高松	78.6MHz
	FM愛媛	FMエヒメ	高松	79.7MHz
	FM徳島	FMトクシマ	徳島	80.7MHz
	FM高知	FMコウチ	高知	81.6MHz
	NHK-FM	NHK-FM	徳島	83.4MHz
"	"	高松	86.0MHz	
NHK-FM	NHK-FM	高知	87.5MHz	
"	"	高松	87.7MHz	
四国地方(AM)	高知放送	コウチハウソウ	高知	900kHz
	NHK第1	NHKダイ1	徳島	945kHz
	"	"	岡山	963kHz
	"	"	高知	990kHz
	NHK第2	NHKダイ2	高松	1,035kHz
	南海放送	ナンカイハウソウ	高松	1,116kHz
" "	NHK第2	NHKダイ2	高松	1,152kHz
	四国放送	シコクハウソウ	徳島	1,269kHz
	NHK第1	NHKダイ1	高松	1,368kHz
	西日本放送	ニシニッポンハウソウ	"	1,449kHz
	NHK第2	NHKダイ2	松山	1,512kHz

	放送局名	ステーションネーム	場所	周波数
九州地方(FM)	Love FM	Love FM	福岡	76.1MHz
	FM中九州	FMナカキュウシュウ	熊本	77.4MHz
	FM佐賀	FMサガ	佐賀	77.9MHz
	CROSS FM	CROSS FM	福岡	78.7MHz
	SMILE-FM	SMILE-FM	長崎	79.5MHz
	FM鹿児島	FMカゴシマ	鹿児島	79.8MHz
	FM福岡	FMフクオカ	福岡	80.7MHz
	NHK-FM	NHK-FM	佐賀	81.6MHz
	FM宮崎	FMミヤザキ	宮崎	83.2MHz
	NHK-FM	NHK-FM	長崎	84.5MHz
"	"	福岡	84.8MHz	
"	"	熊本	85.4MHz	
" "	NHK-FM	NHK-FM	鹿児島	85.6MHz
	"	"	北九州	85.7MHz
	"	"	佐世保	86.0MHz
	"	"	宮崎	86.2MHz
	FM大分	FMオオイタ	大分	88.0MHz
	NHK-FM	NHK-FM	"	88.9MHz
九州地方(AM)	NHK第1	NHKダイ1	宮崎	540kHz
	"	"	鹿児島	576kHz
	"	"	福岡	612kHz
	NHK第1	NHKダイ1	大分	639kHz
	"	"	長崎	684kHz
	NHK第2	NHKダイ2	熊本	756kHz
" "	宮崎放送	ミヤザキハウソウ	宮崎	936kHz
	NHK第1	NHKダイ1	佐賀	963kHz
	NHK第2	NHKダイ2	福岡	1,017kHz
	大分放送	オオイタハウソウ	大分	1,098kHz
	南日本放送	ミナミニッポンハウソウ	熊本	1,107kHz
熊本放送	クマモトハウソウ	熊本	1,197kHz	

	放送局名	ステーションネーム	場所	周波数
九州地方(FM)	長崎放送	ナガサキホウソウ	長崎	1,233kHz
	RKBラジオ	RKBラジオ	福岡	1,278kHz
	NHK第2	NHKダイ2	長崎	1,377kHz
	"	"	鹿児島	1,386kHz
	KBCラジオ	KBCラジオ	福岡	1,413kHz
	NHK第2	NHKダイ2	大分	1,467kHz
沖縄(FM)	FM 沖縄	FM オキナワ	那覇	87.3MHz
	NHK-FM	NHK-FM	沖縄	88.1MHz
	AFN-沖縄	FM AFN	"	89.1MHz
沖縄(AM)	NHK第1	NHKダイ1	沖縄	549kHz
	AFN	AFN	"	648kHz
	琉球放送	リュウキュウホウソウ	那覇	738kHz
	ラジオ沖縄	ラジオオキナワ	"	864kHz
	NHK第2	NHKダイ2	"	1,125kHz

・1999年9月現在の主な放送局と周波数です。

名前のスクロール表示のモードを変えるには

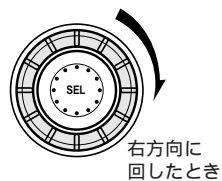
名前は、ディスク名または曲名に切換えたとき1回スクロール表示されます。スクロール表示のモードは変えることができます。

1 SELを2秒以上押す

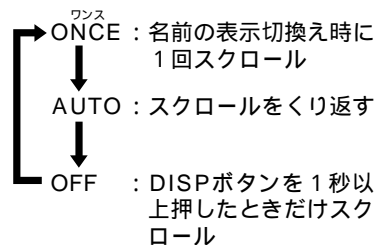
・お買い上げのときは「PSM CLOCK H」が表示されます。

2 (スクロール) または (スクロール) を「ポン・ポン」と押して「PSM SCROLL」を選ぶ

3 ジョグダイヤルを回してスクロールのモードを選ぶ



・左方向に回すと逆を選ぶます。



4 SELを押す

・元のソース(音源)表示に戻ります。

CDの名前や放送局名などを表示させる(つづき)

文字の入力のしかた(修正・削除)

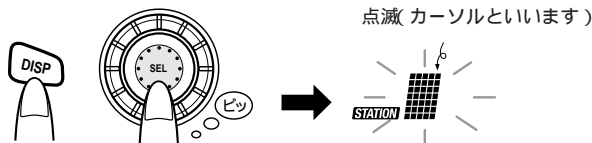
名前を入力したいときは、次の手順で入力します。入力した名前を修正(削除)するときも同じ操作になります。CD/CDチェンジャーは最大32文字(40枚)、ラジオは40局分を最大12文字まで入力できます。

1 ソース(音源)を選ぶ

- ・CD、CDチェンジャーまたはラジオを選びます。

2 DISPを押しながらSELを同時に2秒以上押す

例：ラジオを選んだとき



- ・押しながら...

3 DISPで文字の種類を選ぶ

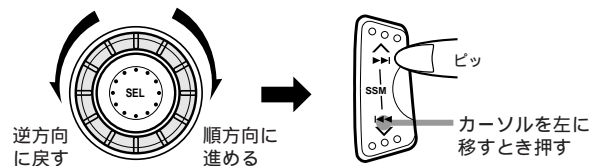


カナ → 英大文字 → 英小文字 → 記号

詳しくは ページの「文字配列表」参照

- ・押すごとに変わります。

4 ジョグダイヤル → で名前を入力する

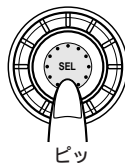


文字を選び...

カーソルを右に移す。文字が確定します。

- ・文字を間違えたときは、 ボタンでカーソルを戻しジョグダイヤルで正しい文字を上書きします。

5 SELを押して確定する



- ・文字を消したいときは、4の操作のとき空白(スペース)を選び確定します。
- ・全て空白(スペース)を入力すると、名前を消すことができます。

お知らせ

41枚目のCD名または41局目の放送局名を入力すると、「NAME FULL」が表示されます。使用しない名前は消してください。

文字配列表

ディスク名や放送局名を表示させるには

CDや放送を聞いているときディスク名や放送局名を表示させるときは、DISPボタンを使います。入力した名前が表示されます。



ピッ

・ 押すことにより変わります。

・ CD/CDチェンジャーのとき：

曲番号と演奏経過時間表示



ディスク名 : スクロール表示されます

(DISPボタンを1秒以上押したときもスクロール表示されます)

・ ラジオのとき：

バンドと受信周波数表示



放送局名表示

カナ

ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ	ク	ケ	コ
サ	シ	ス	セ	ソ	タ	チ	ツ	テ	ト
ナ	ニ	ヌ	ネ	ノ	ハ	ヒ	フ	ヘ	ホ
マ	ミ	ム	メ	モ	ヤ	ユ	ヨ		
ラ	リ	ル	レ	ロ	ワ	ヲ	ン		
ア	イ	ウ	エ	オ	ヤ	ユ	ヨ	ツ	
-	°	´	(空白)						

英大文字

A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
K	L	M	N	O	P	Q	R	S	T
U	V	W	X	Y	Z	(空白)			

英小文字

a	b	c	d	e	f	g	h	i	j
k	l	m	n	o	p	q	r	s	t
u	v	w	x	y	z	(空白)			

記号

0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
!	"	#	\$	%		'	()	*
+	,	-	.	/	:	;	<	=	>
?	@	_	`	(空白)					

お知らせ

放送局名の中で、(中黒)と (アルファ)は、入力できません。

正しくお使いいただくために

- 本機はDC12V、マイナスアース車専用です。大型バスなどの24V車には使用できません。
- スピーカーはアンプの出力(フロント/リア40W)に対し、入力に十分余裕のあるもの、インピーダンス4～8のものをお使いください。
- 次のような場所は避けて取り付けてください。
 - ・直射日光の当たる場所、ヒーターの熱風を直接受ける所など、温度が極端に高くなる場所
 - ・雨が吹き込む所や水がかかったり、湿気の多い所
 - ・ほこりの多い所
- 安全運転のために...
 - ・運転中は車外の音が聞こえる程度の音量に調節してお楽しみください。また操作は、必ず安全な場所に停車させてから行ってください。
 - ・ステレオの音量は、あなたの心がけ次第で大きくも小さくもなりません。お互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。
- 車内の温度は...

真夏の炎天下や冬期低温下で長時間駐車した後に、CDやMDを聞くときは、車内が常温に近くなるまでお待ちください。

(使用温度範囲：0 ~ +40)
- バッテリーの過放電を防ぐため、エンジン停止中やアイドリング中は、大きな音量で長時間使用しないでください。

● 結露(つゆつき)について

次のような場合、本機のレンズなどが結露してMDまたはCDが正常に演奏できないことがあります。

- ・エアコン(暖房)を入れた直後
- ・湿気が多いとき

このようなときは、電源を入れたまま約1～2時間待ってからお使いください。

● 外国での使用は...

本機は日本国内用です。外国での使用はできません。

● スピーカーコードの接続について

本機はBTL*回路方式を採用していますので、スピーカーの接続は必ず別紙の取付説明書の通りにしてください。

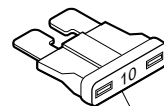
既設のスピーカーコードを利用するとき、左右のスピーカーコードの^{マイナス}側が車の金属部に接続されていたり、^{プラス}側同士が接続されていると故障の原因となります。

*BTL：Balanced Transformerlessの略

2組でパワーアンプを互いに逆相で駆動し、比較的低い電圧で高出力が得られる回路方式のことです。

● ヒューズの交換について

本機のヒューズは10A(アンペア)です。交換してもすぐ切れるときは、お買い上げの販売店にご相談ください。また、10Aを超えるヒューズは絶対に使用しないでください。



ヒューズ(10A)

保証書とアフターサービス

●保証書の記載内容ご確認と保存について

この製品には、保証書が添付されております。

保証書はお買い上げの販売店でお渡ししますので、所定事項の記入、および記載内容をご確認いただき、大切に保存してください。

●保証期間について

保証期間は、お買い上げの日より1年間です。保証書の記載内容により、お買い上げの販売店が修理致します。

その他詳細は保証書をご覧ください。

●保証期間経過後の修理について

保証期間経過後の修理については、お買い上げの販売店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により、有料にて修理させていただきます。

●補修用性能部品の保有期間について

当社はこのカーステレオの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を製造打切り後最低6年保有しています。この期間は通産省の指導によるものです。

●アフターサービスについてのお問い合わせ先

ご転居、ご贈答、その他アフターサービスについてご不明の点は、お買い上げの販売店、または添付の「サービス窓口案内」をご覧ください。最寄りのサービス窓口にご相談ください。

修理を依頼されるときは

1. まずこの取扱説明書をよくお読みのうえ、再度お調べください。
2. それでも具合の悪いときは、お買い上げの販売店に次のことをお知らせください。

・ JVC MD/CD/カセットレシーバー：KW-MZ83DA

・ お名前とおとこ

・ 電話番号

・ 故障の状態(詳しく): 例 CDの演奏音が出ない。

別売りアクセサリ

- ・ クリーニングキット：CK-25(CD用)
- ・ MDレンズクリーナー：CL-ML
- ・ RCA PIN コード：CN-505E(長さ0.5m)
CN-510E(長さ1m)
CN-520E(長さ2m)
- ・ オートヘッドクリーナー：CK-6
- ・ リモコン：RM-RK25

正しくお使いいただくために・こんなときは

こんなときは

MD/CD/カセットレシーバーの具合が悪いとき「故障かな?」と思ったら...

修理を依頼される前に、まず次の項目をお確かめください。

それでも直らないときは故障によることが考えられますので、お買い上げの販売店、または最寄りのサービス窓口までご連絡ください。

症 状	原 因	処 置
どのボタンを押しても正しく動作しない。	・雑音などの影響で内蔵のマイコンが誤動作しているため。	・リセットボタンを押して内蔵のマイコンをリセットする。 (時計や放送局などのメモリーが取り消され、初期状態に戻ります)
▲(ディスク取出し)ボタンを押してもMDまたはCDの取り出しができない。	・雑音などの影響で内蔵のマイコンが誤動作しているため。	・SELボタンを押しながらⓄ/(電源)ボタンを押す。その後再び▲(ディスク取出し)ボタンを押す。
CDの演奏が始まらない。	・CDが裏返しになっている。	・文字のある面が上になるように正しく入れる。
	・CDが汚れている。	・柔らかい乾いた布で演奏面を清掃する。
AM放送がうまく受信できない。	・オートアンテナのコントロール電流が250mAを超えている。	・ リモート出力 コードをオートアンテナに接続するように変更する。
	・ オートアンテナ コードが接続されていない。	・ オートアンテナ コードを接続する。

症 状	原 因	処 置
「DISC ERROR」が表示される。	・ MDまたはCDの読み取りでエラーが発生したため。	・ ▲ボタンを押したあとMDまたはCDを入れ直す。
「BLANK DISC」が表示される。	・ 録音していないMDを入れたため。	・ 録音済みのMDと交換する。
「NO DISC」が表示される。	・ CDまたはMDが入っていないときMD/CDボタンを押したため。	・ CDまたはMDを入れる。
「NO NAME」が表示される。	・ 名前が登録されていないときDISPボタンを押したため。	・ 名前を登録する。 46 52 ページ参照
「HIGH TEMP」が表示される。	・ 本機の内部の温度が異常に高くなっている。	・ FM放送などに切換え、温度が下がるまで待つ。
「NO PRE ADJ.」が表示される。	・ 雑音などの影響でプリセットデータに異常が発生している。	・ お買い上げの販売店または最寄りのサービス窓口までご連絡ください。
ディスクやテープの出し入れのとき、音が途切れる。	・ ディスクやテープの出し入れのときは、音声にミュートングをかけ雑音の発生を防いでいるため故障ではありません。	

主な仕様

本機の仕様および外観は、改善のため予告なく変更することがあります。

CDプレーヤー部

型 式 : コンパクトディスクデジタルオーディオシステム

信号読み取り方式 : 非接触光学式読み取り

(半導体レーザー、 = 780nm使用)

エラー訂正方式 : クロスインターリーブリードソロモコード

チャンネル数 : 2チャンネル

周波数特性 : 5 Hz ~ 20kHz

ダイナミックレンジ : 98dB

S N 比 : 99dB

ワウ・フラッター : 測定限界以下

チューナー部

アンテナ端子 : 外部FM/AM兼用アンテナコネクタ× 1
オートアンテナコントロール電源コード付

FMチューナー部

受信周波数 : 76.0MHz ~ 90.0MHz

実用感度 : 12.1dBf (1.1 μ V/75)

チャンネルセパレーション : 30dB (1kHz)

AMチューナー部

受信周波数 : 522kHz ~ 1,629kHz

実用感度 : 20 μ V

MDプレーヤー部

型 式 : ミニディスクデジタルオーディオシステム

信号読み取り方式 : 非接触光学式読み取り

(半導体レーザー、 = 780nm使用)

サンプリング周波数 : 44.1kHz

音声圧縮方式 : ATRAC

チャンネル数 : 2チャンネル

周波数特性 : 5 Hz ~ 20kHz

ダイナミックレンジ : 92dB

S N 比 : 95dB

ワウ・フラッター : 測定限界以下

カセットプレーヤー部

トラック方式 : コンパクトカセット・ステレオ

ワウ・フラッター : 0.11%W・RMS

早巻き時間 : 約100秒 (C 60)

周波数特性(再生) : ノーマル 30Hz ~ 18kHz

SN比(ノーマルテープ) : 56dB

デジタル シグナル プロセッサ部

メーカープリセットモード : アリーナ、チャーチ、シアター、ディスコ、ライブ
ハウス、オペラハウス、ボーカルキャンセル

フォーカス : 全席モード/運転席モード/助手席モード/
前席モード

オーディオアンプ部

最大出力：フロント/リア 40W + 40W(4、1kHz)
 定格出力：フロント/リア 16W + 16W(40Hz ~
 20kHz、0.8% T.H.D.)
 適合インピーダンス：4 (4 ~ 8 で使用可能)
 入力端子：DINジャック(8ピン)×1、CDチェンジャー
 (またはカーAV機器)接続用
 出力端子：RCA端子(2系統)、2.0V/1k
 スピーカーコード(2系統、ギボシ型)

付属品

- ・接続コード(16ピンコネクター)..... 1
- ・ネジ(M5 × 6mm)..... 8
- ・皿ネジ(M5 × 6mm)..... 8
- ・マウンティングプレート..... 1

本機は、ドルビーラボラトリーズライセンスングコーポレーションの米国および外国特許に基づく許諾製品です。

電源部・その他

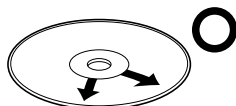
電源電圧：DC14.4V(11 ~ 16Vで使用可能)
 マイナスアース車用
 時刻表示：12時間表示法
 外形寸法：幅178mm × 高さ100mm × 奥行170mm
 質量：約2.6kg(付属品含まず)

お手入れ

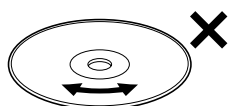
CD(コンパクトディスク)のお手入れ

本機に入れる前に、演奏面についたほこりやゴミ、指紋などを柔らかい布でふきとってください。

必ず内側から外側にふいてください。



必ず内側から外側へ



連続したキズは音飛びの原因になります。

- シンナーやベンジン、アナログレコード用のクリーナーなどは絶対に使用しないでください。

製造元



お問い合わせ先

モバイルエレクトロニクス事業部

〒371 8543 群馬県前橋市大渡町一丁目10番地の1

☎ ダイヤルイン(027)254 8926

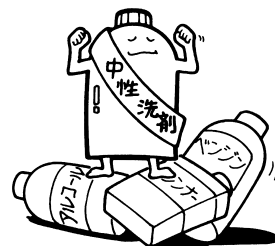
本体の清掃

パネル面が汚れたら柔らかい布などでからぶきしてください。

汚れがひどいときは水で布をしめらすか、中性洗剤を少し布につけてふき、あとはからぶきしてください。

ご注意

- シンナーやベンジン、アルコールなどの化学薬品でふいたり、殺虫剤をかけないでください。変色したり表面の仕上げをいためることがあります。



発売元



カーエレクトロニクス商品部

〒108 8307 東京都港区三田3 13 16

(三田43森ビル)

☎ (03)8454 0942